大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　四月五日

本紙一部五錢　一ケ月一円
定價（前金）…
廣告料…
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

御航海四日恙なく

滿洲國皇帝陛下 あす横濱御上陸
午前十一時四十五分東京驛頭 聖上と初の御對面

【東京國通】畏くも 天皇陛下を始め奉り國を擧げてお待ち申しあぐる友邦滿洲國皇帝陛下には御船路も恙なく明六日午前九時大連迄御出迎への御召艦比叡にて横濱御入港永久に記念申上ぐべき日本國への御上陸第一歩を踏ませられ給ひ、同午前十一時四十五分宮廷列車にて東京驛御着、こゝに 天皇陛下と初の歴史的御對面を遊ばされ、極東平和の契りいよいよ固く市民歡喜奉迎裡に御入京あらせられる

○　○

この日秩父宮殿下には 天皇陛下の御沙汰により首席接伴員林權助男以下を隨へさせられ、横濱まで御出迎へ遊ばされ喜びの横濱港は早朝より海に那珂、鹼島、那智の三儀禮艦をはじめ在港の全船舶の滿艦船飾、陸に奉迎市街装飾等日滿親善御歡迎の氣分沸きかへる中を空中に展開する館山、横須賀、霞ヶ浦の各航空隊の精鋭陣に誘導されつゝ五色も燦たる滿洲國海軍旗を主檣高く靡へした御召艦比叡は供奉艦第十二驅逐隊叢雲、薄雲、白雲の三隻を從へて諸員登舷禮の儀禮艦那珂、那智、鹼島の三隻が

一齊 に撃ち出す殷々たる廿一發の皇禮砲をうけつゝ悠々港内第十號浮標に繋留、皇帝陛下には御上陸に先立ち沈瑞麟宮内府大臣の名を以つて發せらるゝ第一のメッセージを供奉員入江宮内府次官並に大連迄御出迎申しあげた坊城接伴員をして上陸發表せしめ給ふが秩父宮殿下には接伴員、御沙汰による奉迎員等を從へさせられ新設の浮棧橋より御召艇にて御召艦に御成り昨年六月御訪滿以來の御對面に皇帝陛下と一別以來の固き御握手の後シャンパンの乾杯に觴を交させ給ひ御同列にて御上陸埠頭より臨港線迄充ちあふるゝ奉迎者の心からなる奉迎の中を新装なつて光榮に輝く宮廷列車に召され 皇帝陛下、秩父宮殿下お揃にて沿道に渦まく歡呼裡に御入京遊ばされる、この日畏くも天皇陛下には文武百官從へさせられ鹵簿を東京驛頭に進めさせ給ひ親ら御來訪の滿洲國皇帝陛下を御出迎へ遊ばされるが極東に日月の如く輝く兩帝國の元首が初の御對面を遊ばされる、この日の東京驛頭の光景こそ世界史の未だ曾つて知らざる感激的シーンであらねばならぬ、かくて兩陛下には百年の知己よりも深き御友誼の中に一時袂を分ち給ひ並ゐる沿道民草隨喜渇仰の中を 天皇陛下には

宮城 に還幸、皇帝陛下には秩父宮殿下御同乘の御料儀装馬車にて市民奉迎の歡呼に答へさせられつゝ準備萬端整つた御旅舍赤坂離宮に入らせ給ひ更めて同日午後宮城に御參入 天皇陛下に御對面、更に 天皇陛下赤坂離宮に御答禮のため皇帝陛下を御訪問遊ばされ宮中にて文武百官顯官を召され兩陛下お揃の御晩餐に舞樂の興など盡し給ひ御入京第一日をかくて萬々歳裡に終らせられる

今は御着を待つのみの東京驛前

日滿國旗掲揚 普及會生る

（東京にて金久保特派員發）滿洲國皇帝陛下の御來訪は日滿親善の固き楔としてますく兩盟邦を不可分の關係に結ぶ歴史的御盛事とされ、日本朝野はこぞつて奉迎に忙殺されてゐるが、皇帝陛下の御來訪を御迎え申上げるに當つて國民の赤誠のシンボルとして五色の滿洲國旗を各戸に掲げることゝなつたこれが徹底を期してこの程橋本陸軍次官、添田文部次官、櫻井拓務次官を始め川越對滿事務局次長、八田滿鐵副總裁、鷲尾東京市助役の諸氏が中心となり日滿國旗掲揚普及會がつくられ全國的に運動を開始した、同會では各地在郷軍人分會、府縣當局、市町村役場各團体と協力して御沿道の東京、横濱、靜岡、愛知、岐阜、滋賀、奈良、京都、大阪、神戸各地に滿洲國旗の配給に大童となつてゐるから御到着から御歸還の日までは全國各戸に五色旗と日の丸が限りなき日滿協力親善を象徴して陽春の空に輝くことであらう

天候急速に恢復
皇帝陛下御機嫌麗し
＝けふ御航海第四日＝

比叡艦長午前十時發、駐滿海軍部發表＝昨夜以來の低氣壓は午前六時本艦の右卅浬を通過し、强風うねり未だ收まらず、風速廿米、時々驟雨あり視界狹きも天候急速に恢復しつゝあり、本艦の動搖は五度なるも警衛の驅逐艦は動搖大にして激浪艦首を洗ふを見る艦は黑潮に乘りて海上風暖かく、身流石に南海にあるを覺ゆ、皇帝陛下には前部御休憩所に在らせられ御機嫌麗はし午前九時艦は土佐沖の眞中に在りて午後一時廿分潮岬に達する豫定

井上大同學院長 八日着任

新任大同學院長井上忠也氏は八日「あじあ」で着任の豫定

東京全市滿洲色に 只管御待申上ぐ
御着前日の東京市中風景

（東京にて金久保特派員發）善隣の元首を迎へたてまつる前日の帝都は奉迎準備も全く出來上つて街には日滿親善色が漲つてゐる、東京驛前の大奉迎塔、柳の枝が春風に戯れて行人の肩を撫でゝゐる、銀座通りに並んだ二十四ケ所の奉迎門、和田倉門電車通り東京驛八重洲口、赤坂見付の奉迎門、淺草公園歡樂街の奉迎塔、どれも皆んな滿洲色濃く春粧をこらして皇帝陛下の御來着を待ち申上るばかりである、各家庭にも五色の滿洲國旗が配られて「馨香る花の御旗に日章旗光り交へて日の邊り迎へまつる滿洲國皇帝陛下」の御來訪に限りなき感激にみち溢れてゐる、この旗が夜になれば提灯と替つて帝都の春宵に照り輝くのだ、神田商店街は靖國神社の前から神保町駿河台一帶にかけて滿洲國旗を彩つた奉迎柱が軒並に續いてその上に日滿兩國旗が靡めいてゐる松坂屋、三越などでは早くも一日から滿洲國展覽會が開催され、櫻もほころび初めた帝都の春は皇帝御來訪と日滿親善の波に乘つてどつと押寄せて來た

駒井徳三及び趙欣伯氏 單獨賜謁

【東京國通】官を辭して以來芝高輪の寓居に靜養中であつた趙欣伯氏は今回皇帝御訪日に當り勳一位の帶勳者として謁を賜ふ事になり八日の公使館に於る皇帝奉迎會當日丁公使等と共に單獨賜謁を許さるる事に内定した、又建國の功勞者駒井徳三氏も皇帝に單獨賜謁を賜ふ事に内定を見たが皇帝京都御滯在中行はせらるゝ筈である

軍縮本會議に 獨政府を招請
＝スワンソン長官言明＝

【ワシントン三日發國通】再軍備宣言以來ドイツ政府が海軍復興を主張、保有海軍力として英國海軍の三分の一、四十萬噸見當を要求してゐるとの報道が頻りに傳へられてゐるが、三日に至りスワンソン海軍長官は突如來るべき海軍縮少本會議にドイツ政府の參加を招請すべき事を言明、異常な衝動を惹起してゐる

在郷將官招待席上で 坂西大佐失言

【東京國通】貴族院議員坂西中將の養子で昨年までドイツ駐在武官をしてゐた現陸軍省調査班長陸軍歩兵大佐坂西一良氏は去る二日林陸相が在郷將官を招待した席上陸相の挨拶後突如として『在郷將官は何をしてゐるかしつかりせよ』と怒鳴つたことから在郷將官の憤慨を買ひ坂西大佐の失言は國軍の統制を紊すものであると陸相に處分を迫り、陸相は遂に坂西大佐を停職處分に處するに決し四日その旨發表された、因みに停職處分は六ケ月の謹愼を仰せ付けられるもので、期間滿了後は多分復職を許されるだらうと見られてゐる

歡びに溢るる帝都！
離宮の櫻も開かんとす

【東京國通】玆一、二日の春雨に御旅館赤坂離宮附近の櫻も一入ふくらみを見せ將に開かんとして皇帝の御來訪を御待申上げる日本の喜びを表徴するかのやうだ

日滿兩國旗に飾られた辻々のラジオは六時二十五分大連御出港の實況放送をキャッチした御乘艦の御模樣を事細かに傳へるアナウンサーの聲、嚴かに流れる滿洲國々歌の旋律　ラジオを通じて帝都五百萬市民の歡喜は當に其絶頂に達した

東京驛奉迎の光榮に浴せる人

【東京國通】滿洲國皇帝陛下御入京の東京驛奉迎の光榮を荷へる人々は次の如くである

▲第三プラットホームに於ける奉迎者
高松宮殿下、閑院宮殿下を始め各皇族殿下、岡田首相以下各國務大臣、一木樞府議長、牧野内府、湯淺宮相、松平式部長官、陸海各大將、西東京警備司令官、朝香近衛師團長宮殿下、田代憲兵司令官、小栗警視總監、横山府知事、牛塚市長、貴族院議員芳澤謙吉、宇佐美勝夫、丁士源滿洲國公使、同館員親任官待遇以上
以上午前十時五十分迄に新入口より參入第三ホームに於て奉迎

▲第四ホーム奉迎者
公爵以下宮中席次を有するもの、東京府會議長、東京市會議長、在留滿洲國人以上同時刻迄に一般改札口より參入第四ホームに於て奉迎

▲奉迎者服装
大禮服、正装、服制なきものは平常禮服、燕尾服

▲尚陸軍では儀禮のため聯隊長指揮の一部隊をホームに派遣す

暦年制豫算 七月から愈よ編成

滿洲國政府は會計年度を改め康徳三年以降毎年一月一日に始めその年の十二月三十一日に終るものとする方針にして康徳二年度豫算に對しては本年七月一日より十二月三十一日に至る六ケ月を編成することとなつた、これは專ら關税收入ならびに土木工事等の支出に關して、六月末を以て年度替りとするよりも一月より十二月までを會計年度とする方が都合が良いためであると解される

依然たる南京政府の排日に 斷乎猛省を促す
高橋駐在武官語る

【北平四日發國通】高橋駐平武官は四日午後華北の現狀に關し左の如き所見を述べ表面親日轉向の煙幕を張り依然排日を行ひつつある點を指摘し近く支那側の猛省を促すことゝなつた

余は北平着任以來北支における日支關係調整については誠心誠意を以て普斷の努力を拂つて來たつもりで又將來においても此の精神で臨みたい、然るに最近北支の情勢は余の期待と努力を裏切るが如き事態續出し日支關係上まことに遺憾に堪へない、王寵惠氏渡日以來支那の對日態度に多少好轉傳へられまた南京政府は排日貨並に排日教育取締りを勵行してゐる如く聞いてゐる若し眞に南京政府が日支關係調整に乘出したならば、北支に於ても必ずや好轉の實を見なければならぬ筈だ然るに事實全く反對に戰區問題にせよ塘沽協定に基く北支諸懸案にせよ通郵及熱西事件解決後何等の進展を見せてゐない、之は南京政府が從來より却つて無誠意な態度をとつてゐる證左に外ならぬ、之が北支に反映して北平の各大學教授連及大中學生を主体とする排日團体知行者は公然反滿抗日宣傳文を撒布し、滿洲國皇帝陛下の御渡日を目し恰も日本との間に何等かの陰謀のあるかの如く吹聽して日本は近く華北武力侵略を行ふ、國民は擧つて排日運動に投ぜよとの檄文を撒布し又華北日報は滿洲國皇帝訪日に對し不謹愼極まる記事を掲げる等此種の反滿抗日は枚擧にいとまがない位だ然るに當局は何等取締るところなく、傍觀的態度をとつてゐる、之は如何なる方面よりの使嗾によるかは敢て調査の要もあるまい、要するに南京政府の對日態度が未だ是正されてゐない事は明かに看取される、余は近く北支當局に向ひ自己の所信を披瀝してその眞相を質して猛省を促し、且つ現狀打開に努力する考である

御訪日映畫第一版出來 颯爽！大連御出港まで
▽……きのふ國務院で試寫

映畫フイルム「滿洲國皇帝日本御訪問」が滿鐵によつて速報版として謹寫され四日國務院會議室で試寫を行つた、これは奉送の渦にわきあがる新京の四月二日の朝、それから鹵簿自動車の行進、新京驛の御奉送、そして大連驛から日滿國旗はためく市街、同港に滿艦飾をほどこしてやがて黄昏の薄明の中に一路日本へと向ふ比叡の勇姿―以上を收めてまとめられた一卷である

その日く

新京御發既に御四日、御恙なくあすは帝都にて聖上と初の御對面

□

この時においてこそ日滿永久に變らざる脈々たる盟邦の契こそ結ばれるあるを喜ぶ

□

イギリスに滿洲國承認說擡頭　リットン及びリットン報告書感懷果して如何

□

支那の排日、裏では依然行はれてゐる由、もち、さよう一夕に解決は望む方が無理

□

マラソンでまたも世界新記録日本が保持、躍進日本の伸ぶるところ涯知らず

人事往來

▲永田政人氏（ハルビン藥種商）四日午後來京名古屋ホテル投宿
▲山本新五郎氏（大連會社員）同
▲吉川勝氏（大林組牡丹江出張員）同
▲柴田勝治良氏（京都田村駒商店）同
▲富樫千代吉氏（奉天航空會社員）同
▲古畑正之氏（奉天會社員）同
▲安田清稻氏（三越大連支店長）同
▲内尾國男氏（同店員）同
▲下永中佐（軍政部顧問）四日午後發四平街へ
▲永見大佐（同）同内地へ
▲鈴木中佐（關東局警備課長）同歸京
▲岡本一策氏（安東領事）同來京ヤマトホテル投宿
▲倉知鐵吉氏（貴族院議員）同
▲鈴木熊太郎氏（關東軍經理部長）五日午前發内地へ
▲瀬川八雄氏（救世軍司令官）同來京
▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）同歸京
▲河本大作氏（滿鐵理事）同
▲呂榮寰氏（濱江省長）同發ハルビンへ
▲凌陞氏（興安北分省長）同
▲石丸中將（滿洲國前侍從武官）同
▲熙洽氏（財政部大臣）同大連へ
▲後藤安嗣氏（滿洲里領事）同ハルビンへ
▲鷲尾健三氏（滿洲工業專門學校教授）四日午前來京ヤマトホテル投宿
▲増田龜吉氏（小樽材木商）同
▲宍道七郎氏（同）同
▲渡邊島氏（同）同
▲荻野正章氏（京城官吏）四日午後來京ヤマトホテル投宿
▲大木占城氏（同）同
▲日高長三郎氏（大連會社員）四日正午來京ヤマトホテル投宿
▲島岡亮太郎氏（神奈川縣會社員）同
▲横井半三郎氏（東京會社員）同
▲關根齊一氏（日露協會員）同
▲森島守人氏（ハルビン總領事）同
▲藤本實氏（大連會社員）五日午前發ハルビンへ
▲宮元利直氏（奉天會社員）同奉天へ
▲栁原瀬藏氏（國境警備隊長）四日午後山海關より來京國都ホテルへ
▲大坪保雄氏（官吏）同錦州より同
▲澁澤潤次郎氏（保險會社員）同京城より同
▲山根正直氏（官吏）同奉天より同
▲王實夫氏（實業家）同ハルビンより同

御對面を待佗び給ふ三格姫

お揃ひの御歸國　近づき重なる喜び

〔東京國通〕滿洲國皇帝陛下晴れの御入京が後二日に迫つた四日午後記者は陽春の東京郊外杉並高圓寺に皇后陛下の御令妹にして皇帝陛下の弟君溥傑氏夫人たる三格姫を訪問した、折りしも背の君は姫の兄君潤麒氏と共に陸軍士官學校演習のため御不在で姫たゞ一人つゝましやかに御留守を守り兄君皇帝陛下の一路御平安を祈りつゝあつた所で、直に應接室に招ぜられた、うち見れば御室の調度は洋式の中にも東洋趣味が巧みに配され窓際に蘭花二鉢今を盛りと馥郁たる芳香を放ち壁間に掲げられた皇帝の御寫眞にも御對面を御待ち佗び給ふ姫君の胸奥がしのばれてゆかしかつたやがて御足音も輕く室内に入らせられた、姫にはすらつとした御長身をあでやかな滿洲服で包まれ蘭花の様な御美しい御顔を綻ばせて御上品の裡にも極めて平民的な態度で

遠い滿洲からようこそ

と先づ記者の勞を犒はれて御手づから椅子をすゝめられるその御言葉も實に鮮かな日本語だ記者が

御待ちかねでせう

と問へば姫には皇帝に御似させられた瞳を輝かせ

もう後二日ですが随分待ち遠い様な氣が致しますわ、六日御入京の際東京驛には御出迎へ致しませんが赤坂離宮で拝謁を賜るつもりです主人と兄君は今演習中で軍規が嚴しう御座いますから八日公使館に於る謁見式に休暇を取つて歸京し拝謁を賜はりすぐ演習地に引返す筈です、皇帝陛下には常々滿洲國建國に絶大な御援助を寄せられた盟邦日本の皇室始め日本國民に親しく御禮の言葉が述べたいと洩らさせられたその御希望が今度叶はせられさぞお喜びの事と拝察致します、私が先日新京に參りました際も日本の事に就て御下問があり知つて居るだけの事を申上げましたところ非常に御感興深い御様子に拝しました

更に記者が潤麒氏の御歸國に就て質問すれば

よくわかりませんが主人は來る六月士官學校を卒業しあと三ケ月隊付として勤務しそれを了へて多分兄君と共に歸國し滿國軍に勤務する事になりませう

と語られ愈々近く迫られた懐しい滿洲國へ御夫妻揃つての御歸國を眼のあたりに思浮べられてかお顔の色も一段と晴れやかであつた（寫眞は、三格姫のピアノに興ぜられるところ）

菖蒲に早い滿洲に鯉幟り街頭へ！

昨年より一圓高の見當

菖蒲に早い滿洲のけふこの頃五月節句の鯉幟り、吹流しを早くも店舗に飾り出し劍劇に遊ぶ小國民の目をひき付けてゐる、今年鯉幟吹流しは布物の一丈もので一圓八十錢、三間半もので六圓乃至七圓程度その間は二間もの、二間半、三間と各種各様、吹流しは二圓五十錢から五、六圓程度まで、本幟（紋附幟）五圓から七、八圓位まで、原價は昨年より一圓位高いが消費組合出現のこの際儲けてはどうかと小賣商店はいづれも薄利多賣主義で割合安價である（三宅提灯店調べ）

蒙政部前庭に現れた蒙古人の家（包）

蒙古民族の原始的な遊牧生活を最もよく表現してゐるものはいはゆる包（ユルタ）である、青草を追ふて轉々とするのに便利な總体に圓みを持つた組立小屋で、外廓も家根も内側は板で組まれその外を蒙古緞通で覆ひ天井のまん中に煙抜きと換氣のための穴が開けてある、雨の朝、風の夕彼らは自在に綱一本でこの穴を開閉する、ユルタの中には團欒裡に比すべき煮炊きの場所がありその自在鍵には彼らの貴重な財産たる大鍋が掛つてゐる、その周圍に蒙古緞通が布かれて寢室となり精悍な蒙古犬がその周りを警戒するのだが、この蒙古包の見本が一つ滿洲國蒙政部の前庭にこしらへられてあり、衆目を惹き付けてゐる（寫眞は蒙政部前の包「ユルタ」）

滿鐵勤續者の銀盃、表彰狀　近日到着

さる一日滿鐵社員會創立記念日に際して入社以來二十五ケ年及び十五ケ年勤續社員はそれ／＼表彰されたが新京驛々長稲川利一、同驛務方周榮昌兩氏の二十五ケ年表彰狀を始め二十一名の十五ケ年表彰狀も四日午後本社から發送到着した、二十五ケ年勤續者に贈呈される金盃は近日中に輸送されるが十五ケ年勤續者に贈呈の銀盃は大藏省の檢品の關係で發送が遅れ本月末ごろ到着の豫定、なほ新京鐵道事務所管内で表彰された社員は二十五ケ年が日本人五名、滿人一名、十五ケ年日本人百四十六名、滿人九十一名合計百四十三名、いづれも表彰狀は到着したので明日中に各人に傳達される

妓女の洗濯物を稼ぐ男あり

滿人洗濯屋の外交員については兎角の評あるがこれは又平康里妓女の洗濯物を專門に横領し全部酒色に浪費してゐた男が新京署員に逮捕された―本籍河北省樂亭縣新衆現住所太平街門牌十二號洗布所外交員張樹森（二十五）は鐵道北滿都洗布所外交員として傭はれ中滿人料理店大觀樓外十六ケ所にて妓女の洗濯物時價約五百圓を横領全部入質酒色に蕩盡し主家の洗濯代四百圓を集金着服四月初め四平街に逃走、三日再び舞ひ戻り市内大和通二十五番地西群仙に登樓中を臨檢の新京署谷本刑事呂巡捕、王特務が擧動不審者として本署に連行嚴重取調べると前記犯行一切を自白した

連絡乘客の乘車券入鋏

新京驛では既報の通りさる一日から入場券制度を實施とゝもに乘車券も改札口で入鋏してゐるがハルビン發新京午後三時着京濱線第二列車の乘客中には同四時新京發大連ゆき滿鐵線第二十列車に入鋏なしで乘車するのでこれが防止策として同驛ではとり敢へず五日から地下道上り口に繩を張り連絡旅客の乘車券に入鋏すると

二百の匪團を相手に山崎夫人の奮戰

近く民政部で表彰せん

國境に咲いた大和撫子の奮戰聞くものをしていづれも感激せしめずにはおかぬ勇婦談―去月二十八日午前五時ごろ孫匪軍約二百名は水陸双方から突如蒿峰口を去る西方約二里半潘家紅を襲撃し同地分遣隊並に税關監視所を襲ひ放火し更に包圍攻撃をなしたが匪賊の襲撃と共に、巡官山崎分遣隊長以下七名は死力を盡して奮戰し遂に敵は死傷三十名を出し逃走したが、同戰鬪に際し警備隊警長孫維哲氏は殉職し山崎分遣隊長は左足大腿部に盲貫銃創を負ひ、なほ同氏夫人は襲撃とともに健氣にも銃を手にし夫と共に奮戰し頭部に擦過銃創を負ひ目下夫と共に奉天醫大に收容治療中であるが同報告を受けた民政部警務司ではいたく感激し分遣隊長、同夫人を表彰することになつた

家事講習所　けふ修了式

滿鐵新京家事講習所では第二回修了式を五日午前十時より擧行するが修了生は婦人服科三名、子供服科六名、和服科九名、計十八名である

ローターリーがサムマータイム制を一般に提唱

歐洲大戰の末期時代には各國は物資の缺乏に困り抜いて色々の消費節約を計り殊に燈火燃料の節約を計る爲め夜の明けるのが早い夏期には早く起きて早く仕事にかゝり夜は早く寢る事にして點燈時間を少くしたものである、夏期早く起きて早く仕事にかゝる事は單に右の燈火燃料經濟のみならず早く起きて淸き空氣の中に太陽の惠に、然も長く浴する事は滿洲の如き長く冬期を暮らす土地に於ては保健上にも必要の事であるとなし今回在滿大連、奉天、新京、哈爾濱四ロータリークラブ共同にて夏時制採用を一般に提唱即ち夏期中時計の針を一時間宛早めて置く事の運動を起す事となり日滿各機關當局にもこの趣旨を建言する事となつた

池田武範氏　大連水上署轉勤

新京警察署高等係勤務池田武範氏は今回大連水上署勤務を命ぜられ六日午後四時發列車で赴任するので五日暇乞挨拶に來社した、氏は新京署に十二年勤續した同署での古顔であつた

豐寧縣に國境警備隊　先發隊員十日出發

國境領土の確認徹底を期するため滿洲國民政部警務司では今回熱河省豐寧縣小廠に警備隊を設置し警備の充實をはかつて不正入國者並に密輸出入の監視を取締るとゝもに遠隔僻地の住民の治安維持に當ることに決定し來る十日先發隊は現地に向け出發することになつた、なほ同地は曩に宋哲元軍が越境し暴威を振つたが日滿軍警により之を膺懲撃退したので最も重要地である

孔子廟聖堂鎭成

（東京國通）工費五十萬圓、三ケ年の月日を要して孔子廟聖堂は此の程落成、四日午前九時から總裁伏見宮博恭王殿下の御台臨を仰ぎ盛大な聖堂竣工式と併せて畏き邊りより下賜せられた孔夫子像鎭成式が擧行された

警務機關の充實と治安工作新方針

民政部警務司の來年度方針　日系警官を一萬人に

滿洲國治安の確立は國策遂行上の先決問題であり建國以來軍警協力の下に既に第三期工作も終了せんとしてゐるので更に一歩進めて第四期工作の方針を樹立せねばならぬが第四期に於ては警察力の充實と民衆自衛團の構成に依り警務行政の補助機關たらしむべく之が爲め民政部警務司では康德二年度豫算に新方針に基く經費の計上を行つたが警務行政の新方針は大体左の如きものと見られる

警務機關の内充策

一、法令の改正（警察官制作成中）

一、現在八萬三千餘の警察官中日系は三千餘であるが近き將來一萬迄増員し警察官の中堅となすと共に滿人警察官の素質を向上せしめる

一、縣の廢置分合と相依つて制度の改革に當り中央省縣の警察機關の完全なる統制を期す

一、地域的警察官區の改正を行ひ各縣に於ける治安策は縣公署を中心に波紋的に縣境への治安網を充實する

一、警察官の素質向上の爲め各省に養成所教習所の増設を圖る

一、警察網の相互連絡を敏速ならしむる爲め通信網の充實を圖る

一、從來の方針を踏襲し引續き民間散在兵器の回收、職業的有給自衛團の整理及流民の消化、宣撫工作、戸口調査に努力する

一、交通網を整備し治安道路の完成を期す、保甲制度を普及せしめる前提として暫行保甲制施行の各縣をはじめ優秀縣二、三十を選び二年度に於て保甲制の實施を期す

一、從來歸順匪賊の收容所たる觀あつた有給自衛團を漸次廢止して民衆を主体とする義勇自警團を組織せしめる

一、縣の中心地を以て行政警察の中心とし縣境に向つて波紋的警察網を構成し外廓は武裝警察を以て治安工作を進める

新京中學に山岡五段着任　滿洲柔道界の猛者

滿洲柔道界の猛者山岡保孝五段は新京中學校柔道教師としてこのほど着任した、氏は東京商師体育科出身、滿鐵本社學務課勤務から今度轉任することになつたもので、新京商業の藤原五段とともに滿洲柔道界の雙璧であり好取組だらうと噂されてゐる、オール新京柔道部では近く同氏歡迎の柔道大會を開催すべく準備中だが、さきに藤原五段を迎へた京商では昨年中有段者六名を出した好成績によつて見ても同氏の來任によつて今後の國都柔道界は更に一段の躍進を見るであらうと期待されてゐる

東京野球聯盟　二シーズン制復活

〔東京國通〕文部省体育課では四日午前十時東京大學野球聯盟より二期制（二シーズン）復活の認可申請があつたに基き直ちに審議の結果之を認可することに決定、松田文相の承認を經てその旨リーグ側に通告した

東洋大學の池中選手　マラソンで世界新記錄

〔東京國通〕明年の極東オリムピック大會を目指す準備の第一戰として三日オリムピック第一候補と第二候補の對抗陸上競技會が行はれたが、東洋大學の池中安雄選手はマラソン競爭に於て二時間廿六分十四秒の世界最高記錄を出した尚從來の記錄は楠選手の二時間卅一分十秒である

山本第五管區顧問凱旋

〔承德國通〕第五管區顧問山本政雄氏（歩兵大尉）は大阪八聯隊附となり四日午前九時飛行機にて任地に向つた

首都警察廳警佐異動　三日午後發令

首都警察廳三日午後四時管下各署警佐以下の大異動を行つた、警佐、巡官の異動は左の如くである

警佐　深田袈裟吉（保安）
警佐　中野　勇介（新任）
警佐　立花　辰雄（昇進）
巡官　藤原　勝（南關）
警務科勤務を命す
巡官　堀部平一郎（新任）
特務科勤務を命す
警佐　松島　安藏（衛生）
保安科勤務を命す
警佐　杉本　甲（昇進）
巡官　秋木　春吉（新任）
巡官　金箱　國松（新任）
司法科勤務を命す
警佐　松井　泰三（警務）
衛生科勤務を命す
巡官　園　木登（四道街）
同　藤井　正雄（南關）
長通路警察署勤務を命す
警佐　伏木　政次（警務）
巡官　牛田勝次郎（新任）
大經路勤務を命す
警佐　水島滿洲衛門（大經路、
巡官　矢野幸一郎（長通路）
四道街署勤務を命す
巡官　鵜木豐三（長通路）
同　間普　菊二（新任）
南關署勤務を命す

帝都キネマ　けふから第二陣

去る一日より華々しく開館した大衆娯樂の殿堂たる帝都キネマは映寫機の調子整はず第一回封切物二本も其の眞價を發揮出來なかつたが昨四日より總ての調子遺憾なく整調され見事な上映振りを見せ愈々本五日より第二陣プロと變り新興の「明治十三年」メトロの「極樂發展倶樂部」にパラマウントの「ボレロ」の三本建、之に加へ左記の如くプロ差替へた好評の小町糸子及マーガレツトユキ兩孃の舞踊を以て臨む筈である

◇

一、イングリシ、ウオス　マーガレツトユキ
二、日本舞踊　小町糸子
三、マドロスの戀　マーガレツトユキ
四、日本舞踊　小唄詩小町糸子
五、アブナイ腰掛　マーガレツトユキ
六、日本舞踊　－小唄集小町糸子
七、好評御希望により　A祇園舞妓姿　B雨ふれ　マーガレツトユキ

青年學校新設問題　來る十五日青訓主事會

〔大連國通〕既報の如く青年訓練所を中心に聯合新設される青年學校は既に四月一日附で勅令の發布を見たので愈々全滿青年訓練所所在地に新設することになり之が具体的打合せの爲、來る十五日頃新京に於て青訓主事會議を開くことになつた

北鐵接收狀況　公會堂で上映

五日午後六時より新京記念公會堂に於て上映する「百萬人の合唱」映寫の機を利用して滿鐵弘報係撮影の去る三月二十三日ハルビンに於ける北鐵讓渡調印の實況を收めたP、CLのオールトーキーを臨時に映寫することゝなつた

故小野寺氏葬儀

新京地方事務所庶務主任小野寺兵右衛門氏の義弟故小野寺金治郎氏の葬儀は四日午後三時五十分から曙町經王寺において執行されたが地方事務所關係を始め故人の出身新京工學院、岩手縣人會その他各方面の會葬者數百名に上り極めて盛儀であつた

仙人掌

實は斯うだよ……と老紳士は語りました、今から二十數年前、朝鮮の平壤に千萬といふ藝妓がゐた、その妓がまだ舞妓時代に吳の軍港にゐた時、東郷さんに書いて頂いたと云つて絹のハンケチを秘藏してゐた、▲見るとも紛れもない東郷さんの筆蹟さ、僕もその頃まだ若かつた、艶つぽい社會種を書いてみたくてたまらなかつた頃だ、▲そこで大に潤色を加へて書いたものさ、ところがそのため藝妓千萬の名は全鮮に喧傳されるに至つたさうだ、▲流轉極まりなき人生、そんなことはよく知らず僕は間もなく朝鮮を去つたのだ、彼女もまた浮草稼業、流れ／＼て東京に居た時にあの大震火災に遭ひ、▲命から二番目のやうに大事にしてゐたそのハンケチと僕の書いた新聞の切拔きを失つてしまつたさうだ、▲せめてもの想出にその新聞記事だけでも手に入れたいと、始終心がけてゐたんださうで、▲どこでどう調べたか僕も同じ滿洲にゐることを知つて逢つて賴みたいと祈つて居たんださうだ、▲それがはからずも北鐵倶樂部でめぐり逢つたといふだけのことさ、彼女は今哈爾賓の武藏野にゐる姥櫻さ、艶つぽい話でもないぢやないか…と、たよりないことには今の藝名をどう考へても思ひ出せないとさ（終）

けふの銀相場

國幣對金票　一〇九、二〇
鈔票對金票　一一三、六〇
國幣對鈔票　八二、六〇
現大洋對鈔票　一〇九、四七

天氣と氣温

明日の天氣　南西の風晴一時曇
日の出　午前五時十三分
日の入　午後六時十一分
月の出　午前六時十四分
月の入　午後九時五十四分
けふの氣温　最高十度一　最低零下五度五

新撰爆笑隊

（禁上映上演）

辰野九紫作　永田八浦　關英太朗畫

時代篇　四八　珍版大津繪（三）

興味あり氣な言葉を、お菊は聞く脱した。

『ほほほ、勘兵衛さんのお上手ですこと……しらない人が伺ふと、どつちが本當だか迷ひませうよ』

その言葉の裏には、今度こそは遁すものかといふ肚があるらしい。

それから坂の下……土山と辿つてくると、空模様が怪しくなつた。

『オヤ〳〵、こいつはどうやら唄の文句通り──坂はてる〳〵鈴鹿は曇だ。これで、あひの土山雨がふるよテナことになりや世話はねえや。』

と鶴吉がぼやけば、果してぽツり〳〵とやつてくるのではないか──このコースはいまでも氣流の變化激甚の魔所として、航空路の難所地帶といはれてゐるさうな。

『あツ、いけねえ、本降りだ。──あの鳶の野郎まで泡をくらつてばたついてやがる。』

『ふむ、こりや餘程の難所だとみえるテ。──どこの旅籠でもはばたき一つしねえで、すウい〳〵と蒼天井をきつてとぶのに、あの調子ではナ。』

『さういへば、あすこからも雁の一群が俄かに飛だしやがつた。──八幡太郎を氣どるわけでもねえが、こりやちよとヘンだぞ。』

軍師ぶつた勘兵衛、腕をくんで佇むトタンに、百姓一揆みたいな裝束の十四五名、うわア……とばかりに襲來して、二人が何か問返ひだらうと、否やを問ふ隙もなく

『この女盗しの極道奴!』

と口々に罵りわめいて打ちかゝれば、多勢に無勢──忽ち賊の路傍にノサれて、それから何時間つたのか、見も知らぬ旅人に背中を叩かれるまでは、野ざらしであつた。

『おゝ、痛え、身体の節々がばきばき喚つてやがる。──こりや又、なんのこツてえ。』

『鶴的──矢張りあの口だ。』

『どの口?』

『四日市の襲きよ。──時雨の小判箱を狙はれたんだ。』

『さうかナ。女盗しとかいつてたやうだつたが……新造はどこへ行きやがつた?』

『鈴山の方へドロンかナ。』

『それにしても妙チキリンだせ。あすこに陣かつてゐるのは骨箱ぢやねえか。片時も手放したことのねえものを。うツちやらかして行く手はあるめえ。』

『さうもいへるが……』

『あの土百姓の奴等に襲はれたとなると、俺らがこゝまでの道中は鳶に油揚だぞ。』

『まア、いゝやナ。これも大難が小難で濟んだといふものよ。』

『うん、今度の小難は大分骨身にこたへた。──こんなに苦勞しなけりやならねえとなると、金持なんぞ些とも羨ましくねえや。』

『いつそ、貧乏の昔が懐しいか。』

『除り昔のことでもねえけど……あんな生活も御免だテ。』

兎に角、これでは恰好がつかないとあつて、その夜は止むなくも土山に宿をとることにした。

どこの國でも、昔の按摩は宿場々々のラウド・スピーカーで、自ながらも見て來たやうなニユースを吹聴して廻る。──狐につまゝれたなんて、テレ隠しに、ほう〳〵の態で、泥だらけの身体を土山の宿へ運んだ勘兵衛鶴吉の御兩名か、痛む個所をさすらせつゝ、珍らしい話しはないかと誘ひの水を向ければ、待つてましたといひたげな風情で、早瀬その日の出來事を披露し始めた。』

ラヂオ

六日（土曜）新京

六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 中等滿語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、〇〇 中等日語講座（奉天）講師 近藤喜助
七、二〇 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、二〇 滿洲國皇帝陛下御來訪横濱御上陸御模樣
──横濱稅關上屋附近より中繼──
一〇、〇〇 料理獻立（奉天）
一〇、二〇 滿洲國皇帝陛下東京驛御着御模樣並同驛前奉迎實況
──プラットホーム及東京驛前より中繼──
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京及大連）
一一、四〇 ニュース（東京）
〇、〇一 經濟市況（大連引續き新京）
〇、三〇 ニュース（滿語）
〇、四〇 ニュース（東京）
〇、五〇 演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、二〇 成人講座（滿語）新京特別市公署衞生科長 張繼有 春季之衞生（第三講）
二、四〇 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連引續き新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース（鮮語）
四、四〇 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（東京）お話 滿洲國皇帝陛下 細川武子
五、二〇 コドモの新聞（東京）村岡花子
五、二五 氣象通報、番組豫告（東京）
六、〇〇 ニュース（滿語）
六、二〇 政府公報（滿語）
六、三〇 滿洲國皇帝陛下奉迎の夕（東京）

一、吹奏樂 陸軍戸山學校軍樂隊 海軍軍樂隊合同 指揮 陸軍樂長 岡田國一
（イ）滿洲國國歌
（ロ）觀兵式分列行進曲
（ハ）滿洲國皇帝陛下奉迎歌 陸軍省制定 讀賣新聞社謹編 陸軍歩兵大尉 町田敬二謹詞 石塚寛謹曲
二、講演 對滿事務局次長 川越文雄 滿洲國の現況
三、謠曲 羽衣
シテ 梅若萬三郎　ワキ 梅若猶義　地 梅若萬佐世　地 梅若萬三郎　笛 一噌英二　小鼓 北村一郎　大鼓 高安道喜　太鼓 松村隆司
四、歌劇 花くらべ 岡鬼太郎作 杵屋佐吉作曲
常磐津文字兵衛　香蘭 中村福助　菊若 市村家橘　唄 松永和風　唄 杵屋勝五郎　三絃 杵屋淸五郎　三絃 杵屋佐吉　三絃 杵屋佐三郎　低音絃 杵屋佐之助　低音絃 杵屋佐次郎　高音絃 杵佐貴平　高音絃 杵屋吉昭　高音絃 杵屋吉志郎　笛 梅屋竹次
小鼓 福原百之助　小鼓 福原春之助　大鼓 梅屋左十郎　太鼓 梅屋金太郎　太鼓 梅屋勝左
淨瑠璃 常磐津松尾太夫　淨瑠璃 常磐津彌生太夫　淨瑠璃 常磐津宮尾太夫　三味線 常磐津文字兵衛　三味線 常磐津八百八　上調子 常磐津文字三郎
五、吹奏樂 海軍軍樂隊 陸軍戸山學校軍樂隊 合同 指揮 海軍樂隊 內藤清五
（イ）滿洲國皇帝陛下奉迎歌 文部省謹選
（ロ）行進曲「軍艦」 瀬戸口藤吉作曲
（ハ）君が代
八、三〇 時報、ニュース（東京）
八、四五 ニュース、經濟市況、氣象通報、番組豫告（滿語）
引續き
九、〇〇 舊劇 御安着奉祝の夕 文姫歸漢 靑衣 四喜　胡絃 李寶元　銅胡 陳寶祥
九、二〇 舊劇（奉天） 四郎探母 靑衣 小牡丹　老生 曹笑廬　司絃 孫長富　二胡 郭景山
九、四〇 （大連）
一〇、〇〇 獨唱とピアノ獨奏（哈爾濱）
一、バリトン獨唱 チエホフ　ピアノ伴奏 スロボン
（イ）ザ、ナイト、バレード グリンカ作曲
（ロ）コミック、ロマンス、ムッソルグスキ作曲
二、ピアノ獨奏 スロボン 前奏曲第九番及第十番 スクリヤビン作曲
一〇、二〇 講演（哈爾濱より）（露語） ソ聯經濟の潰滅 コンスタンチン

新進青年手合【其二十】

七目勝 染谷一雄（三段）　先番 泉谷實（初段）

合計二百四十六手にて白勝　消費時間合計十七時

六段 久保松勝喜代總評

今回の棋譜は一手殘らず打ち盡くしてあるのだから、誰が作つても其の數に相違は無い筈である。即ち黒の上げ石が二十目、作り上げ黒地五十目で、白は上げ石十二目、作り上げ白地五十七目で白七目の勝局である。

斯くなつた本譜を最初より逆つて顧れば、白二以下六迄は一つの趣向である。黒五で(ほ)の後に黒五と挾んだ碁もある。白十二は面白い。白二四にて先づ百七五に打込み黒百七四白二百二七黒百七五利かして置くのも一利ある。

黒二七にては此の場合三六に出張り度い。白二八は機宜に適して居る。黒三七の手では先づ二九に一本利かしてからでも遲くは無い。白四六を一路下の六一に打ち、黒同じく四七なれば、白百四九黒百四八白五三と實利を占めても一策である。

白七十では假七一に押さねばならぬ。黒七一、七三となつては形勢いかゞ[illegible]

[illegible]つた。此の手で二百十五の邊に守つて置かねばならぬ處であつた。黒百二五では百二八に粘ぐ手であつた。其の時白手拔きなれば黒(に)もあり、(ろ)もあるが假りに黒(ろ)なれば白(い)黒(ほ)（白百四は黒百四二）白(へ)は黒百四二で、此の隅に二十目足らずの得をするのであつた。

尚又黒(ろ)に白(へ)は黒(に)白(と)黒(い)白(ち)黒(り)と粘いで後に(ぬ)と截る味や(ほ)又は(は)の截りが生じて、白が困る。

黒百三五は百四四が先手である黒白二五で百二八に粘いで置いたなら、白百三六の時黒白三七で百八三に絡ねる事も出來た。

黒百五五は百五九の方が面白い白百五六も此の場合百六一が良かつた。黒百五七も白五九に打たねばならなかつたのである。其の時白百六三ならば黒百六十と下つて、前にも述べた如く右邊の白が脈が薄い故、同じ劫になつても黒が勝てたかも知れぬのである。

斯くて白百七八迄となつては[illegible]

居住消息

▲高道留吉氏（大阪府）日本橋通り大同倶樂部內へ
▲安武如件氏（福岡縣）敦化から三笠町三丁目二十五番地へ
▲宮崎千年氏撫順から祝町三丁目十七番地へ
▲高橋傳氏（長野縣）本溪湖から花園町三丁目四十七號ノ一へ
▲梶秀逸氏（香川縣）白菊町一丁目五番地陸軍官舍三十一號へ
▲篠原良治氏（靜岡縣）花園町四丁目一番地五十四ノ二へ
▲佐藤哲郎氏（宮城縣）大和通り四十一番地近藤組へ

轉居

▲五十嵐仁氏住吉町から入船町四丁目一番地森本方へ
▲大山イ氏關東軍から露月町四丁目ガス會社舍宅へ

▲田尻義男氏（露月町三丁目五十九號ノ四）三女智惠子さん一日出生
▲佐々木善市氏（羽衣町二丁目才號羽衣莊內）長男善春さん二十九日出生
▲金澤辰夫氏（吉野町一丁目五番地）長女陽子さん一日午後八時三十分死亡
▲小野寺兵右衛門氏（露月町一丁目六號ノ一）弟金治郎さん二日午後十時廿分死亡

土曜　四月六日　舊三月四日　壬子　赤口　成　氐宿

●一白の人 苦勞して働けば福は內に來りて待ち居る日 壬と癸と丑が吉
●二黒の人 後るゝも急ぎて躓かざるやう心掛くるが吉 乙と丙と丁が吉
●三碧の人 元氣の生じ來る日 新天地に活動するに宜し 丙と庚と丑が吉
●四綠の人 謙讓の德現れて引立てに逢ひ向上發展の日 庚と癸と丑が吉
●五黄の人 世話事多くとも誠を籠むれば無事に解決す 巽と丙と壬が吉
●六白の人 時を逸せず活氣を落さずば好境に入るべし 丁と壬と癸が吉
●七赤の人 自家の業務は無上の樂天地と信じ勵むべし 甲と乙と癸が吉
●八白の人 乘出すべき氣運の見ゆれども足の進まぬ日 乙と丙と壬が吉
●九紫の人 吉にも凶にも轉れ易き日 常業を守るが安全 庚と辛と丑が吉

上海の北鐵事務所も引繼ぎ調印終る
今後の事務は滿鐵が代行

【上海四日發國通】舊北鐵接收に伴ふ同鐵道附帶事業たる當地事務所及び碼頭の引繼ぎに就ては滿鐵機關たる當地滿鐵事務所に於て滿洲國に代つて引繼ぎを受ける事になり過般來滿鐵事務所長石井成一氏及び先月末以來來扈してゐる鐵路總局隅田水運課長が舊北鐵事務所支配人代理タルシス氏と商議を進めてゐたが此程一切の引繼ぎ準備を終つて三日午後二時を以て石井、タルシス兩氏間に調印を完了した引繼ぎを終つた事務所及び碼頭は今後新經營方針の確立迄當分從來の儘踏襲する筈である、尚碼頭の地權問題及び舊債權に絡んで道勝銀行が支那法院に提起せる訴訟問題は一向に進展の模樣ないが滿洲國の所有權には實質上の障碍なきところである

エヂプトが棉花税廢止

【東京國通】四日アレキサンドリア天城總領事より外務省に達した報告に依ればエヂプト政府は二日棉花税を本年九月限り廢止する旨公布した、尚エヂプト棉花税は現在一カンタルにつき一〇ピヤストルである

呼蘭縣に於ける第一次五ヶ年計畫

滿洲に於ける農業恐慌の深刻化は農村救濟が當面の急務であることを告げてゐるが、爲政當局に於いて明日の農村建設のために着々として諸般の施設と方策とが確立されつゝあることをうかゞはれるが、その一例として呼蘭縣における農業第一次五ヶ年計畫を擧げることが出來る、同縣は總面積約四十二萬シャンその内三十六萬シャンは既耕地であり總戸數四萬三千戸中四萬戸は農家である、縣公署がこれに施さんとする五ヶ年計畫は次表豫算によつて簡明にこれを知り得る

第一次五ヶ年計畫に對する每年度豫算

事業計畫	内譯	第一年度	第二年度	第三年度	第四年度	第五年度
農業知識普及	一、試驗場成績發表、改良農法刊行並連絡費	五〇	五〇	七〇	七〇	一〇〇
	一、農村巡回講習會費	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
農業實習指導	一、實習生補助費	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
	一、實習生研究費	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
改良種子配布	一、改良種子購入費	二五〇				
	一、改良種子採種維持費		二〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇
病蟲害除去	一、藥品購入費	五〇	七〇	七〇	一〇〇	一〇〇
研究指導	一、豫防費	三〇	三〇	五〇	五〇	五〇
農耕器具改良	一、改良農具購入費	一〇〇	七〇	五〇	五〇	五〇
	一、改良農具購入補助		一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
副業奬勵	一、副業講習開催費			五〇	一〇〇	一〇〇
	一、副業奬勵補助	五〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
合計		一三三〇	一三二〇	一三九〇	一五七〇	一六〇〇

即ちその眼目とする所は質的並に量的の二方面より農産品種並に家畜の改良及び副業の奬勵指導をなさんとするものであり、農産は大豆、小麥、粟、高粱、包米を主とし、家畜は豚、兎、雞であるが副業としては杞柳栽培計畫を立てて居り、これは細工物として行李鞄、バスケット、籠、椅子等をつくるのに適する、なほ縣立農學校設立計畫をも進めてゐる

第十九回國際勞働總會
我が代表決定

【東京國通】我が日本の聯盟脱退後初めての第十九回國際勞働總會は日本商品の所謂ソシアルダンピング問題を中心とする勞働時間短縮の問題並に鑛山勞働問題も論議の對象となることになるが、之に出席する日本の各代表は五日の閣議に於て正式任命され八日神戸出帆の鹿島丸で出發することとなつた、代表者は左の通りである

△政府代表　國際勞働機關帝國事務所長　吉坂俊藏
社會局勞働部長　赤松小寅
△資本家代表　渡邊鐵工場取締役社長　渡邊嘉雄
△勞働者側代表　日本勞働聯盟會長　八木信一

米視察團の一行五日横濱着

【東京國通】フォブス前駐日大使を團長とするアメリカ日支經濟視察團一行は五日横濱入港のクーリッヂ號で到着の豫定である

二月中に於る新京金融經濟概況（二）
＝朝鮮銀行新京支店調査＝

一、麻袋市況

舊正月及特産物不振の弱材料に折柄の銀高にも拘はらず賣行頗る不振にして相場亦不冴鐵筋四八錢前後に保合閑散裡に越月せり
月中新京驛に於ける入荷數量を見れば次の如し（單位キロ）

前月	當月	前年同月
一、五三〇、七	五九五、〇	一、五二六、三

一、綿糸布市況

上、中旬は舊正月關係にて半休狀態に經過し其間大阪の氣迷軟弱と實需不振、滯貨の壓迫に人氣極度に萎縮し相場は滔々として落調を續けたり
元宵節後は實需期に入り荷動き稍々増加せるも例年同期に比し布　の商内は激減せる模樣にして荷動き漸増も僅かに滯貨を減少せるに止まり先物商内は全く影を沒し只洋行筋の投賣出現に若干の現物小口當用買を見たるのみなり
月末に至るや銀の急騰あり人氣稍明るきを思はしめたるも未だ相場伸び難く玆許不振裡に越月せり
月中出來高約一千俵見當當月中新京驛に於ける到着數量を見れば左の如し（單位キロ）

品名	前月	當月	前年
綿糸	三〇、一七	三六、六	一六五、三
綿布	八九三、〇	一、二二四、五	四九七、七
綿製品	一〇六、三	八七、七	二四、八

主なる商品につき月中相場を見れば次の如し

主要銘柄	高値	安値	平均
一〇番手進塔	二〇三〇〇	二〇〇〇〇	二〇一〇〇
一六番手進塔	二三三〇〇	二三〇〇〇	二三〇〇〇
三輪大同布	二九三	二八八	二九〇
軍人細布	九九三	九九〇	九九三
公會堂晒	八六三	八六三	八六三
三友圖四綾	八九三	八四〇	八五〇
メガネ美人ギヤバ	一四三三	一四〇三	一四一〇
臥龍齒五枚	九三三	九一〇	九二三
一一二本更紗	四二〇	四一〇	四三三

一、麥粉市況

舊正明後は折柄の國幣高に思惑筋の策動も加はりて前月商盛に引續き三、五月先物相當手合せを見たり
月中に於ける當地への入荷

驛名	前月	當月	前年同月
新京驛	一、五五三、〇	一、七二一、一	三、九二三、二
寛城子驛	一	九九、二	一、六三三、四

月中相場を見れば（一袋につき金圓）

品名	月初	月央	月末
一等粉（寶船）	三、四三	三、三六	三、六二
二等粉（辨天）	三、二五	三、三六	三、四〇
三等粉（綠鈴）	三、〇〇	三、二一	三、一三

一、砂糖市況

當月は月初舊正月に當り居る爲舊正手當買も前月一杯にて大體一巡し居ることとて舊正明後月央過よりは春物手當買弗々現はれしも何れも三、四月の期近物に限られたり中旬末に至るや製糖會社に於ける原料手當難の入帮及折柄の銀高にコル關税負擔高に相場稍昂騰し商内見送られて越月したり
月中に於ける當地への入荷數量を見れば次の如し（單位キロ）

驛名	前月	當月	前年同月
新京驛	二、〇七六、六	一、三三六、七	七七七、三
新京站	一、三	〇、八	一

主なる相場を見れば左の如し（俵一三五斤入につき金圓）

品名	月初	月央	月末
J印	一九、九〇	二〇、〇二	二〇、二〇
N印	一九、五四	一九、六〇	一九、八〇
SH印	一九、二〇	一九、三〇	一九、五四

米國の生糸市場有望

【東京國通】米國の三月中生糸消費高は四萬四千三百四十七俵で前月に比し二千百十六俵、前年同月に比し二百六十七俵の増加であるが一般の豫想よりは約四千俵多かつたため生糸市場は先行き樂觀される狀態となり沈滯した氣分を明るくした、且つ在荷は三萬六千五百八十三俵となり前月に比し一萬二千百四十四俵前年に比し二萬六千二百四十五俵の激減を示し近年に無き減額である

消費組合を得意の食料品販賣會社設立説
商店協會調査開始

日滿商店協會聯合會では消費組合問題に神經を焦らだゝせてゐる矢先最近釜山において官吏消費組合への賣込みを目的として食料品販賣會社の設立が計畫され下關中央青果會社に四千株引受方の交渉をなしたをはじめ各地の食料品店に株式引受の勸誘をしてゐる事實を知り時節柄成行を重大視し早速商工會議所を通して釜山商工會議所に調査方を依頼した

營口金融合作社
營業開始

【營口國通】營口縣公署に於ては豫てより營口金融合作社設立に奔走中の處、營口市内外に千六百名の會員を獲得せるを以て愈々四月一日より營業を開始する事になつた

蒙政部員北米へ

蒙政部畜産科の池尻登、前田武司兩科員は技正三浦氏の購買した種緬羊受取輸送のため四日午前新京出發北米サンフランシスコ、シャトルへ出張した

商況欄（四月五日前場）

海外經濟電報（四月二日）

倫敦銀塊	二八片一六分五
同先限	二八片八分三
紐育銀塊	六一仙二分一
孟買銀塊	六七留比八分七
スチール株	二九弗四分一
アナコンダ株	一二弗〇〇
米英爲替	四弗八仙八分五
米日爲替	二八弗三〇仙
米支爲替	三七弗八七仙
英日爲替	一志二片六分一
英支爲替	一志七片六分一
英米爲替	四弗八仙八分七
印日爲替	七七留比八分七

▲米棉

現物	一一仙二〇
五月限	一一仙九〇
七月限	一〇仙九七
十月限	一〇仙五四
十二月限	一〇仙六〇
一月限	一〇仙六二
三月限	一〇仙六五

▲印棉

ブローチ	二二六留比
オームラ	一九六留比
ベンゴール	一三一留比

▲市俄古小麥

五月限	九六仙〇〇
七月限	九二仙八分三
九月限	九二仙八分三

▲カルカッタ麻袋

青筋	二七留比四分一
鐵筋	二四留比一六分九

金銀市況

●上海標金
昨引	八七八〇	八七四〇〇
本寄	七三〇〇	―
歩	七四三〇	―
	七三五〇	―
	七六五〇	―

●大連金鈔票
現物	
寄	一七三〇〇

●大連鈔票銀大洋

	四月十三日限	四月廿八日限
引	一三六〇	
出來高	一〇〇萬	
寄	一三四〇〇	出
歩	一三五〇	來
	一〇八〇	不
	一三〇〇	申

●奉天國幣金票

	四月十三日限	
現物	一〇九〇〇	一〇九〇〇
寄	九一八〇〇	
引	九二四〇	
出來高	三萬	

●奉天國幣鈔票

現物	一三三〇〇

●哈爾濱國幣金票

	四月十三日限	四月廿七日限
寄	一三三八〇〇	一〇八九五〇
引	一三三一〇〇	
出來高	七萬	

●安東國幣金票

	四月十三日限	四月廿八日限
現物	一〇九一〇〇	一〇九〇〇〇
昨引	一〇九一〇〇	一〇九一五〇
出來高	一	
本寄	一〇八〇〇〇	

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向 第一回賣	一一三三五〇〇
第一回買	一一三四〇〇〇
第二回賣	一一三三二五〇〇
第二回買	一一三三七五〇〇
第三回賣	一一三三〇〇〇
第三回買	一一三三五〇〇〇
▲倫敦向 第一回賣	一志六片八分七
第一回買	一志六片五分三
第二回賣	一志六片四分三
第二回買	一志六片三分三
第三回賣	一志六片八分三
第三回買	一志六片八分七
▲紐育向	

▲大連爲替

▲上海向	一〇〇八〇〇〇
	一〇〇七〇〇〇
第一回賣買	三七弗
▲臺灣向	一〇〇四五〇

▲阪神日米爲替

第一回賣買	二六弗一一六分五

▲阪神日英爲替

第二回賣買	一志二片三分一〇〇

株式相場

▲大阪株式（短期）

	寄	引
大新	九一、三〇	九一、三〇
鐘新	一三三、五〇	一三六、六〇
東新	一四八、二〇	一四九、一〇
日産	九九、九〇	一〇〇、六〇

▲大連株式（短期）

	寄	引
五品	三〇、三〇	三〇、三〇
豆新	三四、三〇	三四、三〇
鈔新	三一、九〇	―
鐘新	一四八、九〇	一四八、六〇
東新	一三五、三〇	―
日産	九九、三〇	一〇〇、一〇
滿鐵	六六、〇〇	―
二新	二七、三〇	―

▲奉天株式（短期）

	寄	引
滿取	一	―
東新	一四八、二〇	一四八、六〇
鐘新	一三五、二〇	―
日産	九九、四〇	九九、六〇

商品市況

	寄	引
大新	九一、三〇	九一、三〇
滿新	三〇、一〇	三〇、四〇
二鐵	六〇〇、〇〇	六〇〇、〇〇
電甲	三五、四〇	―
東乙	一三、三〇	一五、六〇
東拓	三、八〇	三、八〇
日亞	一	―
滿魯	六四、二〇	六六、二〇
滿興	三〇、四〇	―
優毛	一	―
先	一八、三〇	―

▲大阪綿糸

	寄	引
四月限	一九九、三〇	一九九、四〇
五月限	一九八、三〇	一九八、三〇
六月限	一九七、八〇	一九九、四〇
七月限	一九八、一〇	一九九、九〇
八月限	一九八、〇〇	一九九、六〇
九月限	一九七、八〇	一九九、一〇
十月限	一九六、三〇	一九八、四〇

▲大阪棉花

	寄	引
當限	六〇、八〇	六〇、五〇
先限	五九、三五	五九、三五

▲大阪人絹

	寄	引
當限	六六、三〇	六六、三〇
先限	六六、一〇	六六、三〇

▲神戸豆粕

	寄	引
四月限	―	―
五月限	四、四二〇	四、四二〇
六月限	―	―
七月限	―	―
八月限	―	―

特産市況

●大連大豆

	寄	引
袋込	四、八六	四、九三
四月限	四、九一	四、九四
五月限	五、〇八	五、〇一
六月限	五、一三	五、一〇
七月限	五、一三	五、一三
八月限	五、一五	五、一七

●同豆粕

	寄	引
現物	一、四〇	一、四〇
四月限	一、四八〇	一、四八〇
五月限	一、四九〇	一、四九〇
六月限	一、五〇〇	一、五〇〇

●同豆油

	寄	引
現物	一四、六〇	一四、六〇
四月限	一四、四〇	一四、七五
五月限	一五、〇〇	一五、〇〇
六月限	一五、三〇	一五、一〇

●同高粱

	寄	引
現物	四、一〇	四、一〇

新京取引所市況（四月一日前場）

●大豆　現物（一石値段）定期（混合百斤値段）

	寄	引	出來高
現物	三、八五		
四月限	四、三四	四、二六	二車
五月限	四、三三	四、三四	三車
六月限	四、三六	四、四三	五車
七月限	四、四一	四、五〇	七車
八月限	四、四七	四、五〇	六車

●高粱

	寄	引	出來高
現物	三、一七		
四月限	三、四三	三、四〇	一車
五月限			四圓

●鈔票對金票

	四月十三日限	四月二十八日限
寄	一三二、八〇	一三二、七〇
引	一三二、三〇	一三三、七〇
出來高	五萬	

●國幣對鈔票

寄	八三、〇五
引	八三、〇〇

●錢鈔

出來高	一八五三千

手形交換（四日）

國幣對金票		一〇九二〇〇圓
鈔票對金票		一三三五〇〇〇
國幣對鈔票		八二六〇〇
現大洋對鈔票		一〇九四七〇〇
金票	三九八枚	
鈔票	一枚	
國幣	二五枚	

皆様が待ちに待つた日本一の花形歌手を揃へた豪華な大音樂映畫

JOスタヂオ・日本ビクター協同第一回超特作品
オール・トーキー映畫

日本一の音樂映畫　百萬人の合唱

勝太郎の島の娘●市丸の濡れつばめ●藤山一郎の僕の青春●小林千代子の戀知りそめて●、ヘレン隅田の可愛い眼●徳山璉の幸福の朝をつづつて……
伏見信子●夏川靜江●伊達信のキャストを配した是ぞ！日本一の素晴らしい大音樂映畫！！

「百萬人の合唱」はJO太秦スタジオと日本ビクター提携作品で映畫界の花形小林千代子夏川靜江伏見信子にレコード界のナムバアワン徳山璉勝太郎市丸藤山一郎小林千代子、ヘレン隅田ビクター四人娘それに新劇界の雄伊達信が競演する日本で最初にして恐らく最後でもあらう所の豪華な音樂映畫です。面白さも出來榮も日本一と各批評家をして言はしめた映畫は本篇をして初めてであり、日本トーキーの華々しい凱歌である。録音は世界に誇るRCA機であり何から何まで非のうちどころの無い素晴しさである

出演
夏川靜江
伏見信子
徳山璉
伊達信
北原幸子
芝うらら

特別出演
小林千代子
藤山一郎
ヘレン隅田
淺草市丸
小唄勝太郎
渡邊はま子
靜ときわ
瀧田菊江
靜みどり
ビクター四人娘

脚色　山名義雄
監督　富岡敦雄
撮影　圓谷英一

五日（金）六日（土）七日（日）公開

◎正午十二時より連續上映入替なし◎

猛獸の死闘！兇惡なる人喰ひ人種の殺氣！撮影日數二年半！（製作工程實に三千哩）

キネマトレード社超特作全發聲日本版
ベン、バーリッチ父子決死的冒險旅行撮影
白耳義國立動物學會より有効章を下賜さる。

魔獸ブーラ

映畫史上未だ曾て見ざる巨人國、小人國、人喰人種の殺氣迫る生活！兇惡なる彼等の迫害！獰猛なる魔獸の襲撃！九死に一生を得て物せる貴重映畫！！

ウーファ全發聲露文豪ドストエフスキー原作

カラマゾフの兄弟

アンナ・ステン嬢
フリッツ・コルトナー氏
主演

料金
大人　八拾錢
軍人學生　五拾錢
小人　參拾錢

主催　新京映畫鑑賞會

記念公會堂

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越内之介

皇帝陛下今朝御着京

東洋の二大帝國元首 けふ東京驛頭に御握手

日滿兩國國民擧げて歡喜に醉ふの日！

御入京は午前十一時半

【東京國通】東亞の空に瑞雲棚びいて畏くも日滿兩國元首が親しく御交驩遊ばされ盟邦兩國民が未だ曾てなき歡喜に醉ふ東洋平和史上永へに記念さるべき日は

遂に　來た、新京御出發以來五日、遙けき波路も御恙なく滿洲國皇帝陛下にはけふ六日横濱に御入港直ちに晴れの御入京を行はせられ　天皇陛下と歴史的御會見を遊ばさる、此日御召艦比叡の横濱御入港は午前九時であるが昨年御渡滿あらせられた秩父宮殿下には　天皇陛下御名代として御召艦迄御出迎へあらせられ晴れの御入京同十一時半御召列車東京に御着、此時　天皇陛下には盟邦元首を親しく御出迎への爲東京驛に行幸、プラツトホームに於て御の御會見歴史的御握手を遊ばさるそれより　天皇陛下宮城に還幸、　皇帝陛下には一旦御旅館赤坂離宮に入らせられ午後一時五十分宮城に御參入、　天皇陛下には御車寄に親しく御出迎へ遊ばされ、かくて鳳凰の間で　皇帝陛下御來訪第一の御盛儀東洋二大帝國元首の輝やく晴れの御會見、意義深き御交驩を行はせられかくて　皇帝陛下赤坂離宮に御歸還あらせらるれば　天皇陛下には親しく御答禮のため同三時半宮城御出門赤坂離宮に

幸行　あらせられ夜はまた宮中豐明殿に　皇帝陛下を御招きの上御歡迎の晩餐會を催され各皇族殿下にも御臨席御宴に際して　天皇陛下より親しく御挨拶の御言葉あり、之に對し　皇帝陛下より御答へ遊ばされるが、畏くも兩陛下御挨拶の御言葉は其の趣旨を宮内省から日滿兩國民に廣く發表されることになつてゐる

秩父宮殿下と御同列 御旅館赤坂離宮へ

御道筋に展開の繪巻物

【東京國通】本日午前十一時卅分宮廷列車東京驛御着と共に聖上陛下と歴史的御對面を遊ばされた後滿洲國皇帝陛下には午前十一時四十分東京驛中央御車寄せに御迎へ奉る美々しき四頭立の儀裝馬車に御乘車秩父宮殿下御同乘林主席接伴員御陪乘にて驛前廣場を飾る滿洲國風の大奉迎門を經て御旅館赤坂離宮に向はせらるゝがこの日の鹵簿は特に第三公式鹵簿を以て編成、而かも國民の熱誠なる奉迎を受けさせられる思召と皇帝陛下の颯爽たる御英姿を拜する爲御召馬車を無蓋に遊ばされ近衛騎兵曹長の捧持する皇帝旗を先頭に先後二部隊よりなる儀仗騎兵は御召馬車を中心に沈宮内府大臣、張侍從武官長以下隨員の坐乘する七輪の儀裝馬車を從へさせらるゝ此の御有様は古代の繪巻にも似て莊嚴の裡にも華麗の極みであらう

◇

この日皇帝陛下には滿洲國大元帥の御正裝に蘭花大綬章同頸飾を召され天資の氣高き御容貌輝かしく奉拜者に對し御會釋を給ふ御様子は思ふだに畏き極みである

◇

東京驛前廣場御沿道に堵列捧げ銃の儀禮にて迎へ奉る近衛儀仗兵を始め全國より此の盛儀を奉拜せんものと上京せる陸海軍將兵並びに在郷軍人約五千名、男女青年團、各學校生徒兒童その他十數萬の一般奉迎者の群れ群れは日滿兩國旗を手に御沿道を埋め初めて仰ぐ盟邦の皇帝陛下の崇高極りなき御容姿を拜し思はずあげる皇帝陛下萬歳の聲は潮の如く帝都の空をゆるがし遠く滿洲國までも響くであらう

御旅舍に當てられた赤坂離宮

御入港を待ち申上ぐる横濱港全景

三月中の商標出願數

商標局發表によれば三月中における商標出願數は左の通りである
△日本二三〇件△英國三件△米國二件△獨逸三件△滿洲國一五件　計二五三件

皇帝陛下を迎へ奉る

侍從武官長 本庄大將謹話

【東京國通】恭しく惟みるに滿洲國皇帝陛下龍飛の德を以て天命を故土に膺け王道に準じて仁政を施さる、日最も深く我皇室を尊敬し國家を理解し常に儀刑をこれにとらんことを努め給ふ、叡明の主と謂ふべき也、不肖昔北京及び天津に駐剳するや夙に陛下の知を辱うし滿洲事變の起るや關東軍司令官として微力を陛下が建國の大業に致せり、不肖の陛下に於ける公私兩ながら因縁淺からざるものあり、而して今や陛下遠く我皇室を來訪し給ふ、眞に有史以來未だ曾て見ざるの盛事なり不肖この盛事に際會せむとし忻躍抃舞感喜の自ら中情に發するを禁ずる能はざるなり

菱刈大將謹話

【東京國通】滿洲國皇帝陛下が愈々四月二日新京御出發櫻咲く日本の春を御訪ね遊ばされることは、それが私の滿洲に在任當時に内定された事であり、殊に屢々陛下を咫尺に拜謁して有難き御言葉を賜つた感激が今尚昨日の如く此胸裡に去來してゐる私としては一入感銘深き御歡迎の喜びにひたるものであります、私は一昨年八月赴任してより昨年末までの間に度々謁を賜つての感想と申せば陛下の御天性極めて御總明御仁慈御生れながらにして皇帝たるの御英資におわしまし昨春崇嚴なる御即位式を擧げさせられてより名實共に王道治國の途に御邁進あらせられる事を痛感したのであります、今次の御訪日は從來滿洲國の爲又陛下の寄せられた我皇室の莫大なる御援助及び昨年秩父宮殿下御訪滿に對する深き御感謝を表せさせられるものと拜察されるのでありますが、此日滿兩皇室の御交驩が將來兩帝國の飛躍發展に資すること多かるべきは申すまでもなく、ひいては東亞の平和更に世界の平和に寄與する所絶大なるを思ひこゝに在任當時の感銘を新にしつゝ皇帝陛下を親しく申上ぐる喜びを在滿の諸君と共に頌ちたいと思ふのであります

待ちわびさせられる 聖上陛下の御友情

＝側近者は只管恐懼感激＝

【東京國通】滿洲國皇帝陛下の御參入を御待ちする大内山も、折柄煙る春雨に松の緑も濃く點綴する三宅坂の

櫻花　も昨夜來の雨で一入のふくらみを見せてゐる、畏くも　天皇陛下に於せられては國際平和の上に大御心を垂れさせられ滿洲國建國に當つては東亞の平和親善の鍵となつてゐる同國の興隆の上に常に御軫念遊ばされ、滿洲國の諸事情に就ては各關係者を御召し御聽取遊ばされた程で今回の御來訪には一入御待ちかねであらせらるるは申す迄もなく、御來訪を明日に控へた五日の如きも側近者に歡迎御接待の御模様を聽取遊ばされる等友邦元首に對する御友情の程側近者何れも恐懼、感激してゐる、又　皇后陛下を始め奉り大宮御所に在します　皇太后陛下におかせられても六日の御來訪を御待兼ねと承るが御滯京中くさぐさの御接伴を盡させらるる秩父宮殿下におかせられては皇帝陛下とは御面識の

間柄　にあらせられる爲御感激一入と拜せられ、横濱埠頭までの御出迎へを始め種々御接待あらせられるが御來訪前日の御所は思ひなしか一入の喜びにざわめいてゐる

六日の御日程

【東京國通】滿洲國皇帝陛下六日の御日程左の如し
一、午前九時半皇帝陛下御召艦横濱御入港
一、同九時半秩父宮殿下棧橋御發御召艦上で御會見
一、同十時二十分皇帝陛下御退艦、同二十五分御上陸續いて海陸儀仗隊御閲兵
一、同四十五分横濱港驛御發車
一、同十一時三十分東京驛御着　天皇陛下と初の御對面遊ばさる
一、同四十分鹵簿東京驛御發
一、午後零時十五分赤坂離宮御着
一、同一時五十分皇帝陛下宮城御參入勳章御贈呈
一、同二時三十五分御退下
一、同三時三十分　天皇陛下御答訪のため宮城御出門
一、同三時三十八分赤坂離宮御着勳章御贈呈、同五十八分御退出、同五十八分宮城還御
一、同六時十分皇帝陛下赤坂離宮御發宮中豐明殿晩餐に向はせらる
一、同六時二十分宮城參入
一、同六時三十分宮中晩餐
一、同九時三十分宮城御退出御歸還

大野顧問東京出發

【東京國通】新任關東軍經濟顧問大野綠一郎氏は五日午前九時東京驛發燕で赴任の途に就いた

御訪日途上にあらせらる滿洲國皇帝陛下にはけふいよいよ横濱御上陸の友邦日本に第一歩を踏ませられ給ふ、▼畏くも天皇陛下にはわざわざ東京驛頭に皇帝陛下を御出迎へ遊ばされ、こゝに兩陛下には初の歴史的御對面を行はせらる、趣き吾々國民の歡喜感激また此よなき次第である▼こゝ當分われ等の母國日本では國をあげて奉迎氣分に沸き返へるであらうが殊に世界史上曾てないこの盛事をまのあたり拜し奉る帝都市民の喜びはまた格別といはねばならない▼突如新京附屬地の水道料金が値上げされた、諸物價の騰貴を見做つたわけではないそうだが一擧三割方は一寸高過ぎはすまいか▼滿鐵のいふところ滿洲國側が隨分高い、それを一部買つて、より以下に賣つてゐるのだから儲けどころか大なる犠牲だといふんだが犠牲は犠牲に違ひない▼しかし現在のやうな滿洲國の比率を楯に取つての値上げは吾々市民の頭にはどうもピンと來ない、寧ろ滿洲國側こそ此方に見做へばよいのではないか▼もつて重大な理由でもあれば此際後學のためにお聽かせ願ひたい

鹵簿の編成

【東京國通】皇帝陛下東都御入京の記念すべきけふ秩父宮殿下と御同乘、東京驛より御旅館赤坂離宮、離宮から宮城へ御參入の晴れの御召馬車は皇帝陛下の颯爽たる御英姿を拜するため特に四頭立の美々しい無蓋の儀裝馬を御用ひ遊ばされる御模様にて晴れの公式鹵簿編成は次の如く皇帝陛下には秩父宮殿下と御同乘沈宮内府大臣、寶熙尚書府大臣、謝外交部大臣以下簡任以上の扈從者は六臺の馬車に分乘、警務處長は十三臺の自動車に夫々分乘供奉申上げると拜聞する

警部（騎馬）　警部（騎馬）
警視（騎馬）
近衛將校　近衛將校
四頭立御馬車　皇帝陛下　秩父宮殿下　林接伴員御陪乘
近衛將校　近衛將校
第一馬車　張侍從武官長　工藤侍衛官長　大谷接伴員
第二馬車　沈宮内府大臣　入江宮内府次長　白根接伴員
第三馬車　寶熙尚書府大臣　羅尚書府秘書官　橋本接伴員
第四馬車　謝外交部大臣　遠藤總務廳長　桑島接伴員
第五馬車　郭陸軍中將　尹海軍少將　熙侍衛官　山縣接伴員
第六馬車　許總務處長　張掌禮處長　徐侍醫　高須接伴員
近衛騎兵
警部（騎馬）　警部（騎馬）
列外自動車十三臺

人事往來

▲池田敬一氏（關東局警務部警務課警部）五日午後設奉天へ
▲宇佐美完爾氏（滿鐵理事）同上大連へ
▲中野忠夫氏（滿鐵總務部文書課長）同上
▲沖田迅雄氏（同鐵道部庶務課長）同上
▲蓮尾誌藏氏（滿洲國交通部營口航政局航程科長）五日午後營口へ
▲笛木俊夫氏（新京鐵路局扶輪小學校々長）同公主嶺へ
▲山本慶作氏（ハルビン鐵路局辦事所工務科長）五日午後新京通過四平街へ

社説

日滿皇帝の御握手
史上空前の御慶事

さきに御訪滿遊ばされたわが聖上御名代宮殿下を迎へられ今これが御答禮として日滿兩國御皇室の御親誼をますます深めさせられるため日本に向はれた滿洲國皇帝は海路恙なくけふ日本本土にお着きになり、嚴肅なる奉迎の人々によつてうづめられた東京驛頭において兩國の　皇帝陛下は親しく御握手をお交しになるのである。これはまことに史上空前の光輝ある御盛事であり、東亞に邦民を治しめされる兩　陛下が相並んで玉歩をお進めになるとき、この場面に接して兩國の官民の胸底には眞に涙ぐましいまでの感激が湧き上ることであらう。

ここにこそ、兩國が魂からの不可分關係に立つものであることが世界の前に展示され、兩國の進路が疑ひもなく東洋の平和とアジア諸民族の向上とを目指し以て世界進歩の行程に協力せんとするものであることが確信づけられるのである。けふ全日本に湧きかへる歡呼の渦巻きは、かかる認識かかる理解のうへに立つての心からの悅びの歌であり、かかる使命への躍進に奏す叫びである。

◇

われらは畏れ多いことではあるが東亞に高く立たれる兩國聖上がともにお若くあらせられることを思ひ、それがわれら日滿國民の光輝ある行進の若々しさ、ちやうど若葉の萠え出でるやうなあふるるその生氣がここにも象徴されてゐると感ずるのである。民族に老ひたるものと、若きものとがある。日本は青年國である、そして滿洲國は一層若い。われらは兩國の前途がいよいよ好望に滿ちてゐることを信ずる。兩國が固く手を握つて建設する東洋の明日は、まことに春の日の如く明るく照り輝くのであることを疑はぬ。

◇

春麗立つ日本の山々はけふどんなに輝いてゐることであらう。草も木も、喜びにふるへてゐるであらう有樣がわれらには眼に見えるやうである。この日に、在滿同胞の感銘は特に深からざるを得ぬ。われらは實に選ばれて兩國の親善を日々の行事に實現すべき現實の場面にゐるのである。われらの一言一行、それが日滿兩國の偉大なる行進の中の一部分なのである。眞に緊張、いやしくも寄せらるゝ期待を裏切るが如きことがあつてはならぬ。今日の御盛事に集中されたところの一億の兩國民衆の關心を悠久なる將來に向つてつないで行かねばならぬわれらである。われらはこの日、心からの慶祝を表はすとともに一層砥礪、以つてわれらの任務を完全に完成せねばならぬことを自覺する。

ソ聯政府が外蒙に鐵道建設を計畫
交通容易となり軍事上重要

最近ソ聯政府が外蒙古に新たなる鐵道の建設を計畫中であることが判明した、ソ聯の影響を外蒙古に强化するために鐵道建設によつて文化水準の低い外蒙古にソ聯の文化を注入することにあるとの建前から計畫されたもので、新設計畫中の鐵道はサバイカル地方のペトロフスクキイザヴオードン市からウランバトールに至る即ち外蒙古共和國の首都たる庫倫に至る鐵道で、キヤフタ及び買賣城を通過し、複線にする計畫であると傳へられてゐる、しかもソ聯政府はこの鐵道を本年中に建設する意圖を有してゐるといふ、從來ソ聯と外蒙古との連絡は飛行機を利用してゐたものが、本鐵道完成の曉には交通いよいよ容易となりその關係はますます密接になるであらう、殊にそれが軍事上に持つ意義は絕大である

米國アジア艦隊
五月日本訪問

【ワシントン三日發國通】スワンソン海軍長官は三日新聞記者團との定例會見に於て米國アジア艦隊が日本を訪問する旨發表し左の如く述べたアジア艦隊司令長官フランク、アバム提督は五月三、四日海軍大演習開始の頃巡洋艦オーガスタス號に搭乘日本を訪問し横濱に一週間神戸に一週間滯在する、更に後から驅逐艦隊が日本を訪問することになつた、海軍大演習に就ては日本の一部に可成り惡感情が漲つてゐる樣だが以上の親善訪問で誤解が一掃されるに至ることを期待する

海軍當局の歡迎豫定

【東京國通】米國アジア艦隊司令長官アバム海軍大將の率ゆるアジア艦隊の來訪につき海軍省當局によれば來訪豫定は左の如くである

旗艦アウガスタス號は五月五日横濱着、同十七日横濱發十八日神戸着廿五日神戸發驅逐艦ホールジヨンズ外十隻及國防艦一隻は五月四日神戸到着、同十七日發演習地に向ふ

尙一行來朝中は日米親善の意味で我海軍でも歡迎の意を表するためアバム大將を主賓として歡迎會を開催する事となつてゐる

墺國徵兵制度
實施決定

【ウイーン三日發國通】オーストリヤ政府は三日夜重大閣議を開會協議數時間の後、ドイツ政府にならひ徵兵制度を實施するに決定した、ただしドイツ政府と異なり平和條約ジエルマン條約第五編に規定された貧弱な軍備では現下の政情に於て到底國防の安定を期し得ない旨を指摘聯盟各國政府に對し再軍備容認を要請するものと見られる

御覽に入れる
宮中舞樂の練習

滿洲國皇帝陛下御來訪第一日たる四月六日午後六時半より宮中正殿に於て晚餐會を催されるが御慰勢の御思召しから宮中舞樂を御覽に入れることになつたので「加陵頻」「納曾利」「春庭花」の三ッが決定され宮內省雅樂部に於ては連日練習を行つてゐる寫眞は加陵頻を舞ふ光榮の四少年

藝苑總出動で
御奉迎催物決定

【東京國通】東京市の滿洲國皇帝御來訪奉迎催物については三十日午後五時から關係當局の最後の協議に於て左の如く決定

市民奉迎大會
(六日午後六時)日比谷公會堂

合　唱「君ガ代(二唱)」滿洲國々歌」　會衆一同　勞働合唱團

挨　拶　牛塚市長

講　演　德富猪一郞

萬　歲(三唱)

獨　唱(滿洲國皇帝陛下奉迎歌)　徳山璉(合唱付)

滿洲國雅樂　滿洲國留日學生俱樂部雅樂團

指揮　遊藝股長　馬龍文

長　唄「元祿花見踊」　日本邦樂學校

指揮　校長　杵屋榮藏

舞　踊　日本俳優協會

イ七福神　坂東三津五郎　市村家橘

ロ鶴龜　守田勘彌

奉迎音樂大會
(七日午後六時)日比谷公會堂

映　畫　中村福助

イ「君ガ代」「滿洲國歌」　謠唱望月　誠外二名

ロ童　謠　△望月誠外二名△永岡志津子

ハ獨　唱　△永田絃一郞△渡邊光子△東海林太郎

ニ「奉迎おどり」島田兒童舞踊研究所生徒

ホ獨　唱　△小野巡△渡邊濱子△藤山一郞△市丸

ヘ童謠齊唱及獨唱　△青い鳥童謠音樂學校乙組兒童△大川澄子△青い鳥童謠音樂學校甲組兒童

ト現唱及歌謠曲　△金子一雄△豆千代△淡谷のり子△明本京靜

奉迎舞踊大會
(八日午後六時)日比谷公會堂

イ「供奴」駒井眞佐子△後見駒井滿洲野

ロ「五月雨」花柳壽美

ハ「手習子」吾妻春江

ニ福井茂舞踊研究所福井茂

ホ河上鈴子舞踊研究所

河上鈴子同一門

ヘ石井漠舞踊研究所

ト宮操子　江口隆哉　舞踊研究所

滿洲國映畫大會
(九日午後六時)本所公會堂

△パラマウント發聲漫畫△迎ニユース△滿鐵謹寫「風光る」△松竹映畫「大滿蒙」△日活映畫「乃木將軍」

滿洲映畫大會
(十日午後六時)(雨天中止)日比谷新音樂堂

(プログラム)は前日に同じ

奉迎兒童大會
(十一日午後六時)本所公會堂

イ講話　久留島武彦

ロ童謠舞踊「滿洲國萬歲」八景白菊童謠劇場員出演

ハ童話劇「イルゼベルの基」青い鳥劇團

ニ舞踊　日本教育舞踊學院

ホ舞踊　與世山彥志舞踊團

奉迎兒童大會
(十四日午後一時、雨天中止)日比谷新音樂堂(プログラム)は十一日に同じ

奉迎音樂大會
(十三日午後一時、雨天十四日午後六時)日比谷新音樂堂

イ滿洲雅樂と劇　滿洲國留日學生俱樂部

ロ吹奏樂　東京市滿和健兒團音樂隊

ハ獨唱　黑田　謙

ニ吹奏樂　松坂屋シンホニーブラスバンド

ホ兒童オーケストラ　東京子供オーケストラー

奉迎さくら祭
(十三日午後六時)日比谷公會堂

イ祭儀　日比谷小學校女兒童

ロ女聲合唱　ホワイト合唱團

ハ舞踊　邦正美舞踊團

ニ舞踊　高田せい子舞踊團

ホ音樂　△內田榮一△美ち奴△小花

ヘ音樂　△松山芳野里△平井美奈子△甲野陽一

ト獨唱と舞踊　△川畑文子　△楠本繁夫

王道學會定例講義

四月七日(日曜)午前十時ヨリ新京記念公會堂ニ於テ

主催　王道學會

後援　新京日日新聞社

蒙古人の運命(下)
オーエン、ラテイモア氏所論

四

蒙古族の反逆と云ふも最初は附和雷同と自國領土の防衞程度の色彩のものであつたが漸次政治的意識に裏附けられて來た蒙古の王侯等が蒙古族と支那人とを甘く操縱して一方には蒙古族の反亂を擁護し他方には支那官憲に對し自分等の名義を貸して支那官憲が殖民政策によつて得る利潤の現金的分前に預つたことに對し蒙古族の間に返王侯運動が起つたのである、續いて蒙古族間には政治的新思想が目覺めて來た、夫れは王侯等を退却せしめ新王侯等を押立つる代りに先づ政治上の重要地位を民間の濟々たる多士に開放せしめることであつた、蒙古人達は內蒙古の政治指導者達が外蒙古に於て革命を起す分子なることを確信したのであるが事實內蒙古の同士達は外蒙古に亡命し重要の地位に就いたのである

蒙古族を最初に率いた民主的指導者達は蒙古王侯自身たるの事實は蒙古族の民族的活力が猶は存して居り世間一般が信じて居るが如く蒙古族は最早救濟の道なき迄に惰落して居ないことを證するものである

五

一九三二年滿洲事變が起り蒙古に全面的變革を見たのであるが此の時蒙古は革命的にして獨立せる外蒙古と保守的にして從屬せる內蒙古に分れたのである、滿洲の突發事件に善處すべく書き下ろされた日本の豫定計劃中に蒙古族の善後策をも特に網羅すべきであつた從來滿洲內に於ける蒙古族は支那官憲の壓政下に反逆し且つ支那官憲との折衝に失敗した蒙古王侯等の政治に對しては不滿であつた、從て彼等蒙古族は常に新しき指導者を求めて居た日本にして若蒙古族を手馴け得るものとぜば滿洲內の頑固なる漢民族を牽制するに非常な値價を有するものとなる、興安省の面積並國防上の地位を見るに省內約二百萬前後の蒙古族は實に人口に比例せざる法外な勢力を持つことになる而して同省は單に滿洲國內に於ける最大省たるのみならず日本の勢力と干渉の入る餘地が最も遠いのであるから蒙古族は日本にとり友邦としては最も價値があるが敵としては實に厄介極まるものである

滿洲國內蒙古族は外蒙古に境し又同時に西部內蒙古に接して居るから若し彼等蒙古族が日本と對時した關係に立つ場合には滿洲國の國境問題は限りなく困難化されて行く若し又日本の政策を以て彼等を甘く懷柔することを得ば日露勢力圈間の最も有力なる「屛風」たることが出來ると同時に現在支那統治下にある蒙古族の同情を得遙か滿支國境に至る迄滿日兩國の國威と勢力を伸張し斯くて支那が失地へ進擊する機會を少くし又支那と滿洲國內の反日分子との交通を杜絕せしむることになる

六

日本一部の野心は單に滿洲國內蒙古にのみ限定されて居るものに非ず日本人は實に往時の淸朝の如く蒙古を含む大陸帝國を建設することが出來るものと信じて居る、又蒙古族中にも日本と提携して外蒙古の革命政府を顚覆し全蒙古を統一して古來の王侯等の地位を回復し得べしと信じて居るものがある(了)

商況欄
(四月四日後場)

金銀市況

●上海標金

前引　八〇七・一〇

後寄　七九六・八〇

步　七六〇・三〇

現物

●大連金鈔票

寄　一三三・四〇

引　一三三・〇〇

出來高　二・〇〇萬

四月十三日限　四月廿八日限

寄　一三三・五〇

步　二三〇〇

引　二三二〇

出來高　一一・二〇萬

●大連鈔票銀大洋

●奉天國幣金票

▲四月十三日限

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向

第一回賣買　一三三・七〇〇

▲倫敦向

第一回賣買　一志六片

第二回賣買　一志六片

▲紐育向

第一回賣買　三七弗

第二回賣買　三七弗

▲大連爲替

▲上海向　一〇〇・八〇〇

▲臺灣向　一〇〇・五〇〇

▲阪神日米爲替

第一回賣買　不變

▲阪神日英爲替

第一回賣買　不變

株式相場

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品		
豆新		
錢鈔		
東新		
日產		
鐘新		
滿鐵		
二新		

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取		
東新		
鐘產		
日新		
大品		
五甲		
豆乙		
電鐵		
同新		
滿拓		
二亞		
東晉		
日興		
滿毛		
滿先		
優		

新京取引所市況
(四月四日後場)

●大豆

現物(一石値段)

定期(混合百斤値段)　寄　引　出來高

●高粱

特產市況

●大連大豆

●同豆粕

●同豆油

●同高粱

●哈爾濱大豆

●同小麥

●鈔票對金票

●國幣對鈔票

南滿

支那船舶に許した二重國籍を廢止
"海運界今後の動向注目さる"

【奉天國通】大連監部通政記公司支配人范貫三氏は日本及び歐洲より古船十隻を購入、芝罘に本店を置く商船會社の設立を計畫既に株金百萬圓の拂込みを終了、愈々近く開業滿洲國並に北支沿岸航路に乘出すこととなつたが、滿洲國政府としては中官半民の營口太行並に安東の大安汽船を准國營の沿岸並に河川航運會社とする方針であり、從來支那船の二重國籍を認めて來たのを變更し滿洲國本土内に本店若しくは資本主が居住し居ざれば許可せざる方針であるので、同公司の滿洲國船籍登記申請に對する可否は海運界の注目を惹いてゐる

撫順に罐詰工場設立
資本金五十萬圓

【撫順發】撫順新揚町二九番地東敏雄氏は目下祖國に於ては北海道、廣島地方に於て一部分篋出製造せらるゝ他は需要の大部分を北米に仰ぎ居るアスパラカスの栽培及び加工を計劃し昭和三年以來塔灣に於て栽培に着手現在廿三萬株(内四年生以上三萬株他の二十萬株は二年生にして加工するには三年生以上が最適當)を所有しをれるを以て之が製造加工を企圖し今春來資本家を物色中なりしが最近に到り廣島縣居住の資産家山本文治氏と了解なり一ケ月九萬罐の製造能力を有する罐詰工場を撫順城に設立すべく目下工場敷地物色中なるが敷地決定次第公補資本金五十萬圓(五萬の一拂込)の株式會社を組織し工場の建設に着手明春より優良なる製品を廉價に市場に供給し輸入防過に努むるべく企圖しをり各方面より多大の期待を以て注視せられてゐる

奉天市政公署の康德元年度の收入概算
數字が物語る市政發展の跡

【奉天國通】市民の分擔公平税制の改良等徹底的合理化を計りつゝある奉天市政公署康德元年度收入概算を見ると歲入は經常部八十六萬二千圓臨時部二十九萬二千圓合計百十五萬四千圓にしてこれを大同二年度に比すれば經常部二十二萬圓臨時部五十二萬七千圓合計七十四萬七千圓の增收となり、元年度歲入は優に百九十萬を突破するものと見られてゐるが、一方教育の擴充、土木事業の新興、衞生の改良等に歲出も著しく膨脹經常部百三十八萬九千圓臨時部五十一萬三千圓合計百九十萬二千圓にして昨年度に比しこれ又七十八萬六千圓の增加を示してゐる

歲入增加の主なる原因は市有土地と市區城内の家屋の整頓を計つた結果財産收入に於て八萬圓を增加した外臨時部に於て永久貸地料六萬二千圓の增加あり又省より小學校授業料二萬七千圓、公衆自動車道路修理費一萬二千圓及び清潔費一萬五千圓の移管を受けた市税に至りては家屋税一萬七千圓、屠殺税一萬八千圓同附加税一萬五千圓撥軍屯の市内劃入による地租及び雜税一萬五千圓、其他古き未納分(地税家屋税)總數四十萬圓に對し今年の追徵二割五分約十萬圓、雜收入一萬圓增加、尙省より移管の小學校全部の經費三十七萬七千圓にして授業料二萬七千圓を控除した殘額三十五萬圓と施粥費一萬八千圓は特殊性なるを以て國庫の補助あり、結局經常臨時兩部合計七十四萬七千圓の增收となつて居り、圓滿なる市政の發展振りを如實に物語つてゐる

原木昂騰豫想に製材業者惱む

【新義州發】鴨江上流地方の各木材山元では殆んど編伐場に運材濟みとなり來月中旬には鴨江名物の伐も見參するが今日迄に殆んど運材するには各山共可成の無理も生し、牛曳賃等運材に相當多額の費用を要し、生産費は著しく嵩んでゐる、即ち牛曳賃の如き今年は尺貫當り一圓七十五錢から一圓八十錢で、昨年より五割も高くなほ立木代金も昨年の約一圓に對し五割高の一圓五十四錢に値上りした、斯くの如く今年度の生産費は各山共總計に於て一二五分乃至二割の高騰を示し六圓二三十錢を割るものは一つもない狀態であるから、今年は當然原木高を豫想されてゐるが、果して此の生産費に伴ふて市價の高騰を望まれるや否やは未だ疑問であり、よし幾分の市價高騰は見ても今年の原木業者はさしたる利益を得ることも出來ず苦境に立つものと豫想されてゐる、一方製材業者としても原木業者が困ると同程度の苦しみを受けることは必然で、昨年の資材難からやうやく救はれて一息つけると思つたも束の間今年も亦大に慣まねばならない運命に立至つてゐるが、製材業者組合員は近く會合の上今年の値段につき協議對策を講ずる筈である

德古水田問題解決
紛爭一月余に亘る
鮮農の讓步により

【撫順發】移住鮮農の水田開墾計畫から土着滿農が死活問題を叫んでこれに反對紛爭を續けてゐた縣下第四區德古水田問題はその後滿洲國側稻葉指導官が去る二十六日來現地に赴き圓滿解決に努めた結果この程下章黨警察署において滿鮮農代表二十名を會合せしめ、これが妥協策について協議せしめたところ

滿洲側は(一)戶數に比し耕地面積狹隘にして水田化により糊口に窮す(二)地質が砂地のため水田に不適當(三)水害により生ずる損害等の反對理由をあげて頑強に水田開墾を拒否する爲鮮農側も遂に該計畫を斷念することになり、一ケ月餘に亘つて紛爭を續けて來た德古水田問題も鮮農側の讓步で圓滿解決、既に開墾のため同地に移住した鮮農九戶十六名は第四區高麗營子に引揚げた

壺蘆島の戎克港擴大

【營口國通】鐵路總局では壺蘆島に於る　克貿易助成のため同島北海埋立地を擴大する事となり五萬圓を以て工事に着手した

營口三月中入滿苦力數
昨年同期に比し二倍

【營口國通】營口海邊警察隊調査に依る三月中の入滿苦力數は總計二萬九千八百九十六名にして昨年の同月に比し二萬人の增加入滿を見た、職業行先地、出身地の主なるもの左の如し

△職業
土木業　一五、二〇〇
土業　八、八〇〇
農業　二、九〇〇

△行先地
奉天　二二、四〇〇
吉林　三、五〇〇
濱江　一、三三〇
大連　一、一八〇

△出身地
河北省　一八、七五〇
山東省　一〇、四五〇

北滿

ハルピン驛の郵便、小包を一掃す
北鐵接收後一輛宛增發配達

【ハルピン發】舊北鐵時代に於ける北滿の郵便物は北鐵當局が頗る冷淡だつたので常に郵便物が停滯してゐるに拘らず車輛の增結もしなかつたので小包の如きは接收當時に於てハルピン驛に數千個も積みあげてあつた、普通郵便でさへも東西線に向ふものは一ケ月もかゝるといふ有樣だつたのでハルピン郵政局は接收と共に之等郵便物の整理に當り鐵路局の協力を得て各旅客列車に一輛宛臨時增結して發送したので三月末までに停滯した郵便及小包部を配達し終つた、今後は平常に復しハルビン滿洲里間も二日以内に送達されることゝなり、飛行郵便のみ頼つてゐた沿線向け郵便物も普通郵便が利用出來ることゝなつた

奥地行の郵便受難期
荷車で輸送される

【ハルピン發】北滿に於ける郵便受難期間―松花江下流方面行きの郵便物は夏期は定期旅客船で輸送し、ハルピン富錦間三日間で送達する又冬は松花江の氷上を走る自動車に託すことゝなつてゐるが、春から夏に移る三月二十日頃から五月二十日頃までの解氷期間及秋から冬に移る十月中旬から十二月中旬に至る結氷期間には定期船の利用も出來ず自動車は小川に遮られて之亦運行せず郵便物は田舍に利用される荷車で輸送され文明の尖端をゆく飛行郵便にするか或は原始的な荷車に託するかより外なくこれ程奇妙な對象も珍しい、本年も三月二十日から受難期に入つたがハルピンから佳木斯、富錦方面に向ふ郵便物は濱綏線珠河から荷車に積まれ延壽を通つて方正に出で河に沿つて下流に向ひ富錦につくまでには二十日近くかゝる從つて松花江下流方面在住者は夏期は毎日定期船の入港で賑はふに反して初夏と初冬はめつたに手紙も受取れず新聞などは勿論讀めないといふ狀態である、尙この期間に於ける郵便遞送の荷車は護衞もつけず匪賊の蟠居する地方を通過するのだが不思議と掠奪を受けない

東滿

滿洲國最初の特命檢閲使
張景惠上將來吉
在吉各部隊を檢閲
建國以來の光榮と感激に滿つ

【吉林國通】滿洲國最初の特命檢閲使として軍政部大臣張景惠上將は佐々木最高顧問以下十八名を帶同、四日午前九時四十七分着列車で來吉したが驛頭には吉興上將、佐藤守備隊司令官、李省長、森岡總領事、其他日滿要人代表多數參列してこれを迎へ、檢閲使は驛長の先導にて十九發の禮砲轟く中を堵列部隊に答禮し乍ら自動車に乘り直ちに宿舍吉林俱樂部に入つた

午後は第二軍管區大佐以上の伺候を受け次で省長以下日滿要人の兩謁を受けた

尙同檢閲使は五日より第二軍管區司令部、軍械處、第二教導隊、吉林憲兵隊、首都憲兵隊憲兵訓練所の順で八日まで檢閲を行ひ、八日午後六時發列車で歸京の豫定であるが、滿洲國建國以來最初の勅命を奉じた特命檢閲が實施されるのであるから在吉受閲部隊はその光榮に感激し非常な緊張味を見せてゐる

守田〇隊の共匪討伐

【吉林國通】去る三月廿八日守田〇隊は三岔口東方八粁の土盤溝七軒家に於て輕機を有する約百名の有力共匪と遭遇激戰の後之に多大の損害を與へて東方に擊退したが本戰鬪に於て石崎少尉は左肩部貫通銃創を蒙り壯烈な戰死、又大利軍曹、大森二等兵は共に重輕傷を負つた、敵は死体を十五も遺棄した儘潰走した

新京區公示第二四號

范家屯區公示第十一號會社公費區課金及手數料規則中左ノ通改正シ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年三月二十九日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　武田胤雄

貨物自動車　一臺ニ付　貨物積載量一噸以下月額金四圓
貨物積載量一噸ヲ超エルモノハ其未滿ヲ增ス毎ニ金五十錢ヲ增ス
特殊自動車　一臺ニ付　靈柩車　月額金四圓
自轉車　同　二輪車　年額金三圓六十錢
三輪車　年額金四圓八十錢
リヤカー附　年額金四圓八十錢
自動車自轉車　一臺ニ付　二輪車　年額金十二圓
三輪車　年額金十六圓八十錢
リヤカー又はサイドカー附　年額金十六圓八十錢
リヤカー　一臺ニ付　年額金一圓二十錢

附記
手曳荷車、自轉車及リヤカーニ對スル課金ハ之ヲ二分シ四月一日、十月一日現在ニ依リ之ヲ賦課ス

種別　單位　課率
乘用馬車　一臺ニ付　自用　年額金二十四圓　營業用　年額金十四圓四十錢
荷馬車　一臺ニ付　自用　年額金十二圓　營業用　年額金四圓八十錢
人力車　同
手曳荷車　一臺ニ付　年額金二圓四十錢
乘用自動車　同　自用　乘用定員四人以下　年額金六十圓
乘用定員五人以上　年額金七十二圓
營業用　乘用定員四人以下　月額金二圓
乘用定員五人以上　月額金三圓
乘合用　乘用定員二〇人以下　月額金五圓
乘用定員二〇人ヲ超ユルモノハ一〇人又ハ其未滿ヲ增ス毎ニ金一圓ヲ增ス

春のお化粧は 粉白粉でスツキリと 汗ばみの肌には香水

一口にパウダーは目の細かい物が肌の爲によいと云はれてゐますが、然し皮膚の性質によつて一樣に申されません

脂肪性の方は、パウダーにホウ酸をまぜて使ひますと綺麗に肌につきます勿論普通の皮膚の方は目の細い良質のパウダーを選んでお化粧をなさることが必要です、朝のお化粧について昨夜皮膚を綺麗にしてクリームをすり込んで休みましたら、朝は洗粉で輕く

洗顏します、そしたらコールドクリームで一度お顏を拭きます、そしてエチヘーゼルとかアストレヂエントの樣な皮膚の收斂劑をすりこみます、そしてパウダーを柔いパフにふくませて顏にたたきこみます次にパウダーが浮いてゐるのを落ちつかせる爲に掌にコールドクリームをつけて

一度ふきとり、パウダーの上を輕くおさへる樣にいたします、そして又パウダーをたゝき頰紅をいたします、眉や眼や唇などの部分についたパウダーを落します

×　×　×

春になると香水に強い關心をもつ人々が多くなつて來ますいはばこれからが香水のシーズンなのです、匂ひは各人の好みによつて違ふが日本人は一般に淡白なものを好む傾向がありますあちらの人は、われわれから考へて

藥品の匂としか思へないやうなドギついものをつけてゐる人がありますがこのためにフランスあたりでは、日本向きの淡白なものを製造してゐますゲランの「ミツコ」など代表的なもので、一體に婦人は男子より甘美な匂ひに魅力を感ずるやうであります今世界を通じて

香水はだんだん東洋的な香ひを高めて來てゐます すなはち、原料に麝香を多く用ひるやうになつたことを立證してゐますが、いはば、あの惡栗的な匂ひが地球をとりまいてゐるといふことになる、のでせう、昔のやうに、サイクラメンとか、ヘリオトロープ、ホワイト、ローズといつたエツセンスの單一なものがなくなつて

名稱なども印象的なものが多い「スアル、ド、パリ」(巴里の夜)「ソキヤンダル」(醜聞)「クレツプ、ドチーン」(支那縮)「ル、ダンディ」(伊達者)「モンシヤトウ」(私の城)「マイ、シイン」(已が罪)といつた舶來品から「夢の花」「銀座」といつた國產品もあります

こんな異狀はないか？
春に多い胸の痛み
＝初期紙上相談＝

▽…物を嚥み込む時、胸骨の上部が痛むのは食道癌

▽…肋膜炎は、胸の左右何れか一方の乳房の下の外方に痛みを覺え痛む方を下にして寢ると痛みが增す、つまり冒された方の胸の痛みを感ずるのである

大きな息しても、咳しても痛みを覺える、惡寒を感じ、熱は朝に低く、夕方に高い

▽…肋膜炎には濕性と乾性とある、胸に重苦しい感じがして、水がたまつてむくむのが濕性で、呼吸が苦しい、むくまない乾性は結核性である、この病氣にかかると、脈博が增し、小便量が減じ、痰は出ても輕い薄い唾液の如きものである

▽…クループ性肺炎は、突然惡感がして戰慄し、急に四十度近い熱が出て、呼吸が苦しく、折々胸に刺痛を覺え、全身ダルク、頭痛かズキンズキンして、食慾を失ひ、薄赤い銹色の痰が出る、咳はあまり多く出ない

▽…カタル性肺炎はカゼや麻疹等から續いて起りクループ性のやうに突發はしない、初めは熱がないが、發熱すると忽ち高熱が出て、脈搏が迫り咳が出る、痰は餘り多く出ないが、胸廓が落ちこむ

▽…膽石病は、右乳下の橫に痛みを感ずる、大抵の場合痛みが突發して、肩の邊まで痛みがひびき何處が痛むかわからないけれど、痛む每に一定の個處が痛む折には、この病氣に罹つた疑ひがある

今日の獻立

朝 △胡麻汁＝馬鈴薯は皮をむき、五分ぐらゐに切つて洗ひ、鍋に水を入れて火にかけ、味噌と鰹節を加へ、馬鈴薯を入れ、胡麻を炒つてざつと擂り潰して加へ、馬鈴薯が軟かくなつたら火を止めます

晝 △牛蒡の辛煮＝牛蒡の皮をそいで粗くせん切り、洗つて水氣をきつておきます、鍋に、胡麻油大匙一杯を入れ、煮立つたところへ牛蒡を入れていため、醤油、味の素少しと、蕃椒の刻んだものを加へて、汁氣のなくなるくらゐに煮上げます

晩 △筍めし＝[illegible]た筍を短册に切つておき、釜に水六合と酒三勺、醤油五勺、砂糖大匙輕く一杯、味の素少々の割に入れ、煮立つたところへ筍を入れ、もう一度煮立つたところへ米五合を入れ噴きかけたら、すぐ火を止めて二十五分くらゐ蒸してからおひつに移します

△葱と豆腐の清汁＝御飯が味つけですから、あつさりとお豆腐のお清汁にしませう

今日の銀幕街

▼長春座―六日より、高杉早苗の「愛情の價値」、右太衛門の「東海の顏役」其他▼新京キネマ―五日よりメリアン、Cクーパーの「空飛ぶ惡魔」阿部九州男の「消える短劍」其他▼帝都キネマ―五日よりジヨージ、ラフトの「ボレロ」鈴木澄子の「明治十三年」パ社の「極樂俱樂部」▼公會堂―五日から伏見信子、勝太郎の「百萬人の合唱」▼新京電影院では目下「荒江女俠」第一集上映中、友聯公司の作品で陳鑑然主演、賀志剛、徐琴芳、范雪朋助演▼龍春電影院では二日から四日間トーキーレヴュー映畫「人間仙子」上映中(寫眞は「空飛ぶ惡魔」の一場面)

子供の科學
郊外散步のとき 蛙の卵
＝飼つて見ると成長の工合が判ります

郊外散步の時など、注意して池や小川の底など見ると、蛙の卵を澤山に見る事が出來ます、田圃や小川にあるのは、大抵とのさまがへるの卵で、一つ一つ寒天狀のものに包まれたものが塊つてゐますひきがへるの卵は、庭の池などに在つて、長い長い寒天の紐が蜒々と蟠つて居り、その中に何列にもなつて卵が入つて居ります、この寒天のやうなものは魚がきらひですから、卵が魚に食はれるのを防ぐことが出來ます、この卵を取り出して見ると、上が白く下が黑い丸藥大のものです、暖かい日がつづくと、達磨のやうな形になつて、うようよと寒天の中で動いで居りますが、やがて寒天を破つて外に出ます そんな頃には餘程長くなつて居りますが、それが水中を泳ぎ廻るうちに、食物を攝つて大きくなり、とうとうおたまじやくしになるのです、これは形が魚に似て居る許りでなく、頭の兩側には小さい房のやうな鰓が出て居て、それで呼吸をして居るのです、卵を採つて來て水鉢の中に飼つて

朗らか小父さん

「建築講座」 主婦と住宅 (三)
滿洲中央銀行　山崎忠夫

主婦と二重生活

現に滿洲に於けるサラリーマン氏の主婦は純然たる洋裝でもなく

和裝でもない、活動能率方面の考察は最早や洋裝の右に出るものはない、良人は家庭へ歸れば和裝になり主婦子供は家庭にあつて洋裝になる傾向を示して來たそれは衣食住に對する文化史が變つて和洋式に轉化した結果であらうと言ふ

◇　◇

用に即した型を考へ出したのだ、住宅に於ても　主婦の服裝に洋裝、和裝料理に和食洋食が何處までも切り放せない樣に　日本人である以上便利な日本疊を殺してまで洋式にとは行かない日本趣味を捨てゝ了ふ事は日本人から大和魂をとつた大和人形の樣な物である、これに反して洋式住宅を和裝の人に押しつけ樣とするのでも勿論ない、そうすれば家庭生活の何處かに無理が生じて來るであらう、洋式にせよ、和式にせよ、相當の懸隔ある譯である、この懸隔を出來るだけ少くし樣としなくてはいけない、丁度主婦達が洋裝で丸髷姿の明治初年のことを考へるべくもない、滿洲に於ける一流の建築家すらその苦勞はしてゐるそして混沌を脫せず雜駁と皮相とに波洒して丸髷姿の主婦にアツパツパをきせて　和洋折衷住宅だと言つてゐる、それなれば和裝の純然たる浴衣か純滿洲服の方がより性的魅力がある筈だ、今日の如く主婦の社交問題の論議される時主婦としても　良い意味の

社交　ダンスの踊り場も家庭に慾しくなつて來る洋服があれば洋服ダンスも慾しいに違ひない、文化も進み社會の進步に從ひ用も亦變つた從來の用はも早役立たず次々と新しい用が生れて來た

◇　◇

舊文化は固定な樣式のために現代生活からは緣遠いものとなつて終つた　然し經濟の鋭さは驚く可きものとなつて終つた、凡ての樣式は用に即した型を考へ出して來た特にこの滿洲に於ては氣候風土の異つたものであり生活樣式も特に發達してゐる、なれば滿洲の生活樣式の用に即した要求が住宅問題にも起る筈である滿洲の生活は先述の如く凡てが二重樣式的な生活振りである住宅に於ても和洋式の經濟的な融和を計りたいと思ふ

紙上相談

(問)　春陽の砌り貴紙益々御盛祥奉賀候陳者御繁忙中誠に恐縮に存候へども小生儀赴任早々にて未だ土地不案內にて家畜病院の所在地不承知の爲目下飼養中の愛犬の件につき誠に萬一の場合を思ひ心細く存じ候ため何卒貴紙問合欄にて御報せ下され度犬と云ふ雜誌拜見致し候處テンパーと云ふ病名にて百匹中七十四までの死亡率云々と有之候處テンパーとは如何なる種類の病氣なりや又豫防方法は無之ものや否や御報の勞を煩度　ＦＫ生

(答)　家畜病院の所在地は左記の通りです東四條通り一三、田島家畜病院(電話五四一一番)それからテンパーと云ふのは犬の熱性傳染病で、人間で言へば子供のハシカに相當するものです、その徵候は今迄元氣だつたのが、急に元氣がなくなり食慾が減じ、同時に体溫が昇り、下痢便秘をもよほし、一週間もすると目やにが出て、それが次第に黄味を帶びて來る頃には完全に犯されてゐるのです、豫防法としては風邪をひかぬ樣に注意し、寄生虫などの發生を防ぐべきで、一番安全なのは豫防注射を行ふことです、なほ詳しいことは醫院にでもお問合せ下さい

學藝欄

論壇時評 思想政策は勝利を得たか?

――森戸辰男「思想の統一と危機の克服」(中央公論)――

矢間久知

専ら滿洲支那關係の論文を取扱ふつもりだが、時にはその範圍を超えることもやりたい

四月の「中央公論」卷頭に森戸辰男の「思想の統一と危機の克服」があり、ちやうど美濃部學說が問題となつてゐるときでもありこれを論評する

森戸もまた貴族院が日本思想史に占めた役割を先づ說いてゐる

マルクス主義が思想裁判の被告として告發されたその理由は、マルクス主義それ自身が持つ鋭い現代批判にあつたと森戸は言ふ。今やマルクス主義の日本における衰退は否定出來ぬ。日本精神の作興、それが取つて代つた。これについて論者は二つの點を指摘してゐる。國粹主義運動には極めて少數の學生しか熱心でないこと。主動者が特異な社會環境のものであること

論者は確言する、マルクス主義は理論的に克服されずとそれはマルクス主義といふものが資本主義社會構成の反映であるからであり、これを理論的に論破することも出來てゐない。ただそれは政治的壓迫によつて、又似而非科學の方法によつて、又神秘主義の高唱によつて衰退せしめられた日本主義の宗教的昂揚がそれを語つてゐる。が知るべきはマルクス主義はその名を自稱すると否とに拘らず、その眞理性の故に思想と科學の世界にますます影響を加へつゝあることだ

われらは喧傳される三五、六年の危機以上に深刻重大な文化史上の危機に臨んでゐることこれが克服は危機の全貌の科學的解明以外にはない。これが現代社會科學の重大た任務である。この任務の遂行のために、科學研究は自由でなければならぬ。而してかかる討究の結果が民衆の中に移植され民衆の自發的協働によつて現實社會に生かされねばならぬ

思想統一政策は果して勝利を得たりや?

以上が論旨の要點である。この日本思想史上、マルクス主義者としてよりもむしろ自由主義、進歩主義の運動者として活動し來つた人の叫びに私は一脈、かの尾崎咢堂の論說と相通ずるものあるを思ふのだ。まことに曾つて華やかな歡聲のうちに、大學の沒落を說き廻つた若い日本人と、そして今日の情勢の中に決死の覺悟で遺書を書きつづける老鬪士、彼らの感懷は今日のわが思想界―思想なき思想界の姿に對して涅からざるを得ないであらう、森戸氏はもつと具体的にいはゆる非科學的理論の構築の底を突くべきであらう

ひとたまりもない纖弱な理論であるからと言つて、横行するそれらを放任すべきではあるまい。大衆との協働はここにも必要である

伏字が多くて慣れない者には讀みにくいが、その結論に贊成すると否とにかかはらず現代文化、日本における思想といつたものに關心を持つ者は一讀し置くべきであらう

映畫評 肉彈鬼中隊 眞摯な一篇

約熱の沙漠の眞只中で指揮者を失つた英國騎兵偵察隊は、辛じて見付け出したオアシスにある回教徒の寺院の中で一泊する、夜が明けると足と頼む馬は全て盗まれ數名の戰友が斃れてゐた、物語りは此處に立て籠る偵察隊が見えざる敵、姿を見せないアラビア土兵の狙ひうちに一人々々たほれてゆく、そしてたつた一人生殘つた軍曹が、漸くにして戰友の仇をうつた時、通りがゝつた本隊に救はれると言つたものである

× ×

アラビア土兵の狙ひうちにたほれる者、本隊との連絡に飛び出して惨殺される者、約熱と、焦燥と、絶望のため發狂して自ら敵彈にたほれる者等―最後の一人が死ぬまでを、そしてその度にかはる絶望と焦燥、悲痛な心理の動きとを丹念に描寫していつたものである、隨つてキャメラは殆んどそのオアシスを出でないで、終始色々な角度から、色々な變化を見せてはくれるのであるが、結末の見えた、發展性の乏しい内容が、眞剣なひたすらな描寫にも拘らず案外胸を打たない空々しいものを持つてゐることだ、一應は手固く深刻ではあるが随所に窺はれる無理が、そう思はせるのであらうか

× ×

いゝのは、その戰鬪意識が最後まで人間性に基づいてゐること、こさへものの愛國心の煽動や嘘がないことである、ジョン、フォードも、ダッドリー、ニコルスも皆ひたすらに眞摯であることに好意が感じられる、ビクター、マクラグレンも好調だ(N生)

新京高女 内地旅行便り (三)

下の關―別府

スクリウの音に一夜を明かし窓を開ければ潮を含んだ朝風が颯々と頬をなぶる

手荷物をまとめて甲板に出る船はドラをならし汽笛を吹いて入港を告げる、歩橋は船と港をつないだ、波止場に下りて果物の檢查、リンゴは「一つでも持つてくるんですよ」との事で一つのリンゴをノコノコと持つて行き名前までつけられて大くさり、それから小さな聯絡船でクラゲや可愛いかもめや白い波を見ながら八時三〇分門司に着いた

× ×

八時四十分の、内地の汽車は私達を迎へるためにすべりこんで來た、發車まで間があるので食料品の買込に大變、買ふの買はないのつて、曰くミカン、曰くバナ、、曰くキンカン、曰くリンゴ、曰くサンドウイチッ、曰くコーヒーETC…キンカンのすつぱいのに顔をしかめ、コーヒーのにがいのににが笑ひしてこれがほんとの、にが笑とは?

悲喜交々の感を満載して汽車は八時四十分に出發した、滿洲の黄色い景色とは違つて青々とした田、畑、山そして河日本の春は綺麗な友禪模様のやう、菜の花の黄色、桃櫻のほのかなくれない、すみれの紫、椿の紅、柳のみどり…それらの景色をながめながら汽車は進む

瓦の屋根、村の學校、踏切番のおばさん、ねんねこで坊やを背負つてゐる子供皆あたし達の見たい接したい風景ばつかり原つぱに子供を集めてる紙芝居を見た時は思はず喊聲を上げた

小倉、行橋をすぎて中津にかゝる頃雨がポツポツ降り出した雨のそぼふる中津驛で下車す、羅漢寺ゆきの輕便あり、ガタガタ汽車に乗り櫻の名所大貞公園をすぎ羅漢寺についた

雨の降る中を「春雨だ濡れて行かう」と口だけは何でもなさそうにいばつて近くの宿屋に陣取つた、こゝでナンセンスがあつたでんす、そのナンセンスは「いゝとこはどこですか?」「こつちです」この女中さんトントンと二階に上るハテお便所は二階かな?とついて行くと女中さん窓をあけて曰く「こゝよりもつといゝとこあるんですけど雨で煙つて見えませんお氣の毒」つて「よういわんわ」とSさんの話四時間あまりの間お午御飯をたべたり、手紙を書いたりして又ガタガタ輕便にのり中津にまひ戻つた

× ×

中津發二時五十分の別府行きの汽車にのつた、雨が本降りになつたので途中まで迎へに來てくれた倉持のおぢさんの指圖により一つ手前の龜川に下車してそれから遊覧バスにのり地獄めぐりをすることになつた

バスガールの面白いアクセントの、説明入りで第一の血の池地獄についた、こゝは酸化鐵で赤くなつたのださうでいさゝか氣味が悪かつた、この赤い粘土で寝巻だとか、ハンカチ等染めてあつた

其の次がかまど地獄こゝはお釜から温泉のゆげが出てゐるこのゆげにマッチの火をつけるとパアーッと浦島太郎の様な煙が出るこゝのおぢさんの話によると化學試驗所でしらべても分らないから、エンマさまに聞いたらわかるだらうとのこと、こゝが地獄の一町目、なんだか地獄の入口をのぞいた様な氣でフラフラとバスに來て行くと次は坊主地獄こゝにはコンゴー河でとれた鬼の骨があつた、こゝで地獄の二丁目、次の地獄に行くと海の様に碧い温泉がクタクタ煮立つてゐた、最後の八幡地獄、こゝも泡が出るほどゴボゴボ沸騰してゐた

別府五大奇觀を見つくした私達は完全にクタクタに疲れた体をバスに乗せ春の夜の雨をついて急いだ、別府!!別府!!

(上田晴代)

夜景

春田右太衛

金香班の張素蘭は
緑の服を着て柳のやうに痩せてゐる

「我是去年從北平來的……」
眼がかがやいて遠い鄕愁をそそる

きびしい勞働が
おまへの乳房を失ひ去らせた
張素蘭よ、もつと空氣を食べるがいい
春の陽光を飲み込むがいい

遠い胡弓のひびき……
彼女はなよなよと肉体をくねらせる

爆撃機

二つの詩作コンクール

ここに詩作コンクールといふのは、僕が勝手につけたので一つは滿洲日報の學藝欄に出た在連詩人諸君の諸作を言ひ、も一つは時々奉天新聞に現はれる奉天詩話會の諸君の作品を指すのである内容は別としてこのやうな企てそれ自身は甚だ推賞してよいことである

× ×

最近のこのコンクールの成績に貝殻追放的批判を與へることにしやう、簡單に言へば大連の諸君の作品は、いかにもプチブル好みの藝術派の小作品である、城小 の作の一節に「總ての希望を失ひて、私は放浪にでるところです」とある。そう希望を失つて貰つては困るが「失ひて」とわざわざ文語風に書くのが彼らに共通した悪いくせである、精進!精進!それも生活的な精進を望むものだ

× ×

これが奉天の諸君になると、みんなお若いだけ(失禮)いや味といふものはない然し、その持ち味たるべき素直さをともすると見栄で飾らうとするのはいけない。あの中では女性の丘あけみ君が獨自な感覺の世界を持つてゐて期待させるものがある丘君のイメジが一人よがりのものとしてでなく大衆に浸透し得るやうになれば大したものだ

× ×

沓木郁之介の「炎の精神」は先づ合格點を與へられた松岡しげるも時々佳作を見せる―大いに諸君の勇躍を祈る次第だ(柵寛太)

滿洲學藝人消息

▲丘あけみ女史 在奉天の女流詩人はこの程奉天放送局に勤務することとなつた、めでたし
▲高橋繁人氏(滿洲新興洋畫會同人)先般來出張で來京中であつたが三日歸奉した
▲奥一氏(高梁社)印刷業大發展で多忙を極めてゐる
▲近東綺十郎氏 東京生活一年再び新京に現はれジャーナリズム戰線に活躍することとなつた、アドレス新京日日氣付よろしく
▲富永種生女史(月刊滿洲四月號に短歌數首を寄稿
▲由良武巳氏、藤門重生氏コングの如く新京に姿を出現
▲瀬沼三郎氏(國〓調査部)その飜譯せる「儒林外史」を近く滿日に連載することとなつた

濁風

三角洲

新京のまちにも月はありにけり我がものとして飽かずながむる

くろき家積にねたれば夜のふけしさびしさありぬステッキを振る

せんなさに司令部の屋根を思ひ出で逆さになれど狭きわが部屋

拾ひたるよろこびなれや老頭兒がハモニカ吹きて街を歩くも

吹く風をよろこぶごとく見えしかど彼のフラッパーかなしき町角

新刊

◇滿洲評論(第八巻第十三號)(三月三十日)「康德皇帝陛下御渡日を歡送し奉る」時評に「滿洲經濟情勢と中銀の適應性」「天理村と天照村」論文に「經濟恐慌裡の滿洲國財政」「日滿金融統制に對する日本側の意響」(大連市山縣通一八滿洲評論社發行定價金十錢)

◇大連時報 第八十一號(三月十五日)「北鐵買收が齎らす諸影響」「北滿鐵路の概要」其他大連市政記事等(大連市若狭町大連時報社發行定價金二十五錢)

◇滿蒙知識(三月號)「神秘境蒙古の話」(笹目恒雄)「一兵の滿洲放浪記」(田部虎千代)其他滿蒙關係記事多數(東京市麹町區九段四丁目四滿蒙知識社發行定價金十五錢)

告示第二號

左記ニ依リ當管内(滿鐵附屬地ヲ除ク)居住者ニ對シ左記ノ通リ定期種痘ヲ施行ス保護者及義務者ハ當日午後一ヨリ午後四時マデ指定場所ニ於テ種痘及檢痘ヲ受クヘシ
但シ痘瘡ヲ經過シタル者ハ此ノ限リニアラズ

昭和十年四月四日

在新京總領事 川村博

記

第一期種痘ヲ受クヘキ者
一、當歳及數ヘ年二歳ノ者但シ既ニ種痘ヲ受ケ善感シタル者及生後九十日未滿ノ者ヲ除ク
二、前各號ノ年令ニ種痘ヲ受ケタルモ不善感ナリシ者
三、數ヘ年九歳以下ニシテ未タ種痘ヲ受ケサル者

第二期種痘ヲ受クヘキ者
一、數ヘ年十歳ノ者但シ八九歳ノ時種痘ヲ受ケ善感シタル者
二、數ヘ年十一歳ニシテ前號ノ年令ニ種痘ヲ受ケタルモ不善感ナリシ者
三、二十歳以下ニシテ未タ種痘ヲ受ケタルコトナキ者
四、前各號ニ該當セサル者ニシテ種痘後滿五年ヲ經過セサル者及種痘ヲ受ケタルモ不善感ナリシ者ハナルヘク種痘ヲ受クルヲ可トス

種痘及檢痘日割

種痘月日	檢痘月日	施行區域	場所
四月二十二日		管内一圓	新發屯派出所
四月二十三日	五月一日	同	總領事館警察署講堂
四月二十四日		同	同

備考 檢痘ハ總領事館警察署講堂ニ於テ行フ

滿洲國との振合上 水道料金値上げ
家事用水その他約三割方
五月一日から實施

新京附屬地の水道料金が約三割方騰つた、滿鐵地方事務所では從來給水の一部を國都建設局より補給を受けてゐたが一般向家事用水では滿洲國側が一立方米國幣十五錢に比し附屬地は金十錢といふ格段の差でこれは何とか協調の必要ありとして、昨日來その値上について考慮中だつたところいよ〳〵左記の通り五月一日から實施することになつた、（金額はいづれも一立方米迄毎に）

一、湯屋營業　金八錢
二、噴水、瀧、泉池、庭園その他娯樂用　金四十錢
三、工業用　金一八錢
四、工事その他一時使用に供するもの　金二六錢
五、氷滑及道路撒水用に供するもの　金一〇錢
六、前各號以外のもの（防火用）を除く　金一三錢
七、工業專用水　金一三錢
八、切符給水は〇、〇三六立方米（約二斗）迄毎に金九厘とし水栓所布地に於て切符引換に給水する

舊料金は（一）金六錢（二）金三〇錢（三）金一五錢（四）二〇錢（五）新定（六）一〇錢でいづれも三割程度の引上になるわけで氷滑および道路撒水は從來（四）の項に入れられてゐたのが特に區別され半額に値下されたことになるなほ最低徴收額では水量には變りないが單價引上の結果例へば家事用では月額六十錢（六立方米）だつたのが七十八錢になる勘定である

いづれも四月二十五日までゝあるから新京居住の希望者はなるべく早く新京警察署衛生係を經由して願書を提出されたいと

最もひどい室町校
小學生の大氾濫
對策は二校增設の他なし

市內各小學校の新入學兒童は合計九百三十八名に及び昨年の入學兒童四百五十に比べて一躍二倍强といふ驚異的膨脹を示し兒童氾濫に滿鐵當局では對策に腐心してゐるが結局第五、第六校の增築に俟つ他なくなつて來たが中でも增加率の割合に夥いと見られてゐた室町小學校は意外にも內地及び各地からの轉入學、高等科入學者、家政女校入學者の增加等で敎室に狹益を來し家政女學校は幼稚園に幼稚園は同校講堂に收容し漸く一時的に間に合せてゐる、同校の收容能力は二十四學級のところ現在二十七學級を收容してゐる有樣で高等科の移轉は焦眉の急として叫ばれてゐる

天日麗らか 櫻も開かん
東京市の杞憂晴る

【東京國通】東京は昨夜相當强い雨があり滿洲國皇帝陛下の御入京を明日に控えた五日も朝から春雨がしとしと降り續き、明日の天候が大いに氣遣はれてゐたが、中央氣象臺の午前六時の觀測に依れば、今土佐沖にある低氣壓が日中には東京を通過して天候も次第に好くなり、六日は朝から南の風が吹いて天氣は隣邦の元首を奉迎するに相應しい日滿晴れになるとの事である、又溫度は五日朝十一度で例年より四度高く、六日は高氣壓の關係で多少下るが今日の雨と高溫は櫻の開花を促し七、八日頃は滿開の盛觀を呈する見込みで東京市民は此處に數日來の杞憂が一掃されて奉迎準備に一段馬力をかけてゐる

赤坂離宮の生花
橫地氏が奉仕

【東京國通】滿洲國皇帝陛下には愈々六日御入京遊ばされる、御宿舍赤坂離宮は既に萬端の御準備整ひ御滯在を御待ちして居る此度畏くも御慰め申上げるために生花奉仕の榮を給つた相阿彌正流十八世家元橫地宗庭氏は五日午後二時門下生の新井嘉月木間嘉斗の兩氏を隨へて赤坂離宮に伺候、心魂を傾けて御座所に生花を奉仕した、宜德大廣口花瓶に幾多の星霜に苔むす五尺餘の儞雅端麗な蘗櫻に古雅なる老松と色麗はしき深山椿を配した幽玄にして頗る氣品高きものである

神前結婚式 新入兒童で
新京神社賑ふ

のが殖へて來て此頃の新京神社は連日神前結婚のお芽出度續きであるが五日にはこのお日目出度が五組もありまるで出雲の神樣と取り違へた形であるそれに同日は八島白菊兩小學校の新入學兒童、室町幼稚園の入園兒等の參拜もあり一般參拜者も多く終日賑つた

泡沫時代から順次健實なる建設時代に入り新京に居住する獨身者の中には家庭を持つも

飛ぶ樣に賣れる 御訪日記念切手
四日間に四萬枚を賣切る

皇帝御訪日の記念切手は二日から一齊に賣出されたが新京中央郵便局では五日午前中で一錢五厘、三錢各一萬六千枚六錢、十錢各一千七百枚合計三萬五千四百枚を賣り盡し更に追加請求中である、なほ滿洲國側頭道溝郵便局では切手合計三萬九千六百枚、記念繪葉書は二千一百枚全部賣り切れといふ盛況で七日ごろには追加請求二千枚が到着するはずである

新京商業 卒業生の
上級校入學者

新京商業學校本年卒業生の中上級學校入學決定者は左の如くである

△上海東亞同文書院芹澤五郞、田浦直成、新行內義兒△ハルビン學院中村次夫、川尻伊三次、石黑寬△名古屋高商淸原秀雄△長崎高商深藏庸之△鹿兒島高商古田豚人△山口高商加治木俊道△大阪外無荒木正美

產婆及び 看護婦試驗
五月奉天醫大で

關東局管下の產婆、看護婦試驗は奉天滿洲醫科大學に於て執行されるが期日は產婆試驗は五月三十日より三日間、看護婦試驗は五月二十七日より三日間夫々執行されることになつた、これが出願期間はい

木材列車の衝突で 軍用列車大顚覆
京圖線明月溝の椿事
搭乘軍隊三十一名重輕傷

五日正十二時頃京圖線南溝驛で二百六十四號木材列車が連結中連結器がはづれ逸走し始め、八十度の勾配を物凄い勢で逆行し亮兵台、明月溝の中間新京起點四百キロ附近地點にて軍用列車二百二十七號と正面衝突、一大音響と共に脫線轉覆し搭乘中の軍隊特務曹長一名、下士官一名、兵廿九名計三十一名、重傷者十三名輕傷者十八名を出す椿事を起した急報に接した新京鐵路局よりは山領次長其他軍醫等搭乘の救援列車が四時半現地に向つて急行、吉林驛よりも救援列車が現地に急行した

軍醫、軍隊、係員便乘、治療材料を滿載して現場に急行せしめた

一方吉林に指令して同地滿鐵醫院より醫者一名、看護婦三名を現場に赴かしめたが延吉敦化、明月溝各駐屯軍よりも軍醫、看護兵が衞生材料を携行して派遣され、應急措置に萬全を期して居る

慘澹、明月溝 復舊は六日朝
鐵路局で必死作業

新京鐵路局入報に依れば明月溝列車衝突事件の現場は機關車は脫線し逸走車四輛は粉碎され木材は飛散し軍用列車中の機關車の次ぎの二、三等車は大破し無慘の姿を橫へてゐるが、鐵路局では負傷者に對する應急措置を講ずるほか直ちに復舊作業にとりかゝり百五十名の局員が必死の活動を續けてゐるが復舊作業は遲くも六日朝までに完了する筈である

るや、新京鐵路局では五日午後四時廿分新京發救援臨時列車を編成し、新京鐵路局長外

救援の醫師 看護婦急行

明月溝列車衝突事件の急報あ

倘鐵路總局の大里人事處長及運輸處長は六日午前七時半新京發現地に向ひ負傷者を見舞ふ筈である

京圖線衝突で 第〇大隊來ず

六日午前八時五十分新京着豫定の第〇〇聯隊第〇大隊は五日京圖線列車衝突事件のため中止となつた

武節中佐の 重要書類
京城で紛失す

【京城國通】ロンドンより歸朝の途にある艦政本部員武節俊二郞中佐は四日午後二時五十分京城着驛前旅館に投宿午前三時發急行で釜山に向け出發せんとしたところ携帶のトランク九個の內重要書類入りのトランク一個が盜難にかゝつたこと發見目下極秘裡に搜查中だが旅館ボーターも前後して行方不明となつたので恐らく同人の仕業ではあるまいかと行方嚴探中

實業補習 學校入學式
來る八日擧行

新京實業補習學校の入學式は八日午後七時より商業學校講堂に於て擧行されるが現在までの入學申込者は一千百九十七名に達し內、支那語及び露語の一期入學者は殆んど滿員で支那語、露語第二期は幾分餘裕あるのみであるから希望者は至急申込まれたいと

本社新築地鎭祭

解氷期に向つたので本社は現在の隣接地に新社屋の建築工事に着手するので五日の吉日をトし地鎭祭を擧行した

各部局對抗野球戰 メンバー決まる

滿洲國野球協會主催の各部局對抗軟式野球大會は愈よ八日から中銀グラウンドで花々しく火蓋を切つて落されることになつたが出場チームは十九チームでこれが組合せその他につき五日正午から文敎部會議室で各チームの主將會議を開催し左の如き組合せを決定した

一回戰

Ａ市政公署對大德公司（八日午後四時）
Ｂ蒙政部對中銀（九日午後四時）
Ｃ馬政局對實業（十日午後四時）

二回戰

▲需要處對建設局▲國道局對郵政管理局▲軍政部對交通部▲外交部對文敎部▲產業調查局對民政部▲監察院對司法部▲財政部對Ａ勝者Ｂ勝者對Ｃ

勝者なほ一回戰出場の監督、主將選手は左の如くである

▲市政公署

監督沼田、主將香西、選手笠井、高橋、香西、小野、高瀨沼田、永吉、土橋、中村

▲大德公司

監督杉浦、主將松葉、選手松葉、齊野、藤本、杉浦、二神梶原、岩瀨、大村、宗、加藤中島、高橋

▲蒙政部

監督山本、主將飯塚、選手木村、飯塚、兒西、村永、片山小島、岩野、齋藤、佐藤、溝口、越智、西澤

▲馬政局

監督芝田、主將瀨崎、選手瀨崎、山田、間山、吉岡、竹內牧野、諏訪、上田、奧、山根

▲實業部

監督楢原、主將赤德、選手吉田、村井、港、秋間、川崎、上條、松尾、高橋、木內

コート開きは日曜
多數出場歡迎

新京體育聯盟軟式庭球部主催のコート開きは十四日（十五日を變更）午前九時から西公園コートで市內各運動具店後援の下に盛大に開催されるが當日は選手入場式についで神崎體聯理事の挨拶あり練習を開始、引續き紅白試合を行ひ後に野村體聯幹事の發聲で萬歲を三唱して散會の豫定、男女を問はず多數選手奮つて出場を歡迎してゐる

領警署で 庭球コート

新京總領事館警察署では居留民會事務所の新築のためテニスコートを失つてゐたが今度民會の建物脇にある空地にコート一面を新設すべく目下交涉中、倘今シーズンには間に合ふやう工事を急ぐ模樣

選拔野球八日 降雨で中止

中等選拔野球試合第八日の準決勝戰は雨天の爲中止となつた

日本の覇者學生軍 日滿軍と對戰
あす新京商業學校講堂で

華麗卓球試合

全國卓球界の猛者日本學生卓球聯盟軍を迎へ七日午前九時から新京商業學校講堂で滿洲國軍側と花々しく對戰することになつた、このチームを迎へての勝敗は當然學生聯盟軍に名をなさしめる事は云ふまでもないが、果して滿洲國軍がどの程度まで喰止め得るかに非常な興味をもつて見られてゐる、市民はこの好試合を觀覽せよ、なほ終つて午後一時から引續いて日滿聯合軍と對戰するはず、なほ日滿聯合軍の選手は次の通り

日滿聯合軍

林博、中江勇雄、中村仁、山口實、伊藤昌二、後藤正作、咲花種次郞、三井田弘補缺星川、和田

滿洲國側

楊鴻起、劉遠崎、劉繼第周開亭、王義先、伊東昌二後藤正作、和田一明、補缺咲花、星川

西公園コート 五日から開放

スポーツ人にはお待ち兼ねの春が來た、新京體育聯盟軟式庭球部では惠まれたスポーツシーズン來に大急ぎで西公園コートの修理に着手したが今ではすつかり完了し五日から正式開放することになつた全會員競つてこゝを根城に猛練習開始されたいとまづ幹事連からラケットを手にユニホーム姿もりゝしく素晴らしい意氣込みである

若杉參事官病む

【北平五日發國通】北平公使館若杉參事官は上海に開催される在支總領事會議出席の爲五日出發の豫定のところ數日前より風邪に冒され目下病臥中にて出席中止となつた

白き女奴隷の春‖ 街の天使八十錢
商埠地三等妓館風景

滿人街に聽く（二）

春の日の晝下り豚の煮える匂ひのはげしい中を通つて商埠地市場の西北の隅にいはゆる三等妓館を探る、だいぶん傾いた黑煉瓦の低い家並、でこぼこの道、明るい太陽の下だが、男たちはうろ〳〵と步いてゐる、某々堂の軒前に記者は次のやうな立派な文句の春聯を見出して微笑した

「永順福地萬事興　極有一番興盛」

堂前茂草歌舘疎台不乏王孫貴公」

ところでこの王孫たるや見てゐると、破れ靴の百姓姿だ、お椀帽子の貴公子（？）だ、油の瓶をさげて來る妓がゐる豪盛な客でも來てゐるのか或る家からは胡弓の響きが流れて來てカン高い歌聲がする吉順堂、雙鶴堂、玉卿堂、華順堂・艷喜堂…或る一軒に勇敢にはいつて見る、とばりをあげ、船室のやうに狹い部屋が並んでゐて女がその入り口に立つたり腰掛けたりしてゐる

「お客は多いかね」

「多くもない、少くもないわ」

記者はこれを滿洲語で話してゐるのである、向ふは些か怪しむらしい

「あなたは支那人か日本人か？」

と訊く、記者は面倒だから

「我是滿洲國人」

と答へることにした

好學の士のために彼女らの相場を聞けば「拉舖」（ラープ！、つまり蒲團を引くといふ意味なんだがすなはちショートタイムです）が八十錢とのこと、勸誘大いに努めるがどうもおち氣がつくくらゐの代物である、いやいいのもゐるんだ、大和撫子型の美人も居れば、すこぶるモダンな女もゐる

「何處から來たんだい？」

「去年天津から…」

「こんな所にゐて面白いかね」

「薄命に生れついてゐるんだから仕方がないわ」

鳳茹といふ藝名の若い女は斯う文學的表現で答へたものです、春のいいお天氣のせゐであらうか、ここの白い天使たちに暗い陰は見えない、若い人たちにおすすめしたい、心が憂鬱な時には足をのばしてこの特殊地帶を散步でもしたらきつと氣は晴れて來ると思ふ、新京の妓館街巷にもうららかに四月の太陽は照つてゐるのだ

女人婆羅門 (百九)

(猪上演映畫化)

長田秀雄

西正世志畫

漂島の燕 (四)

稻川丸は太平洋の只中を一路小笠原島へ向けて航進してゐた。(小笠原島は、文祿年間に小笠原貞頼の發見したもので、その時は無人島だつた。東京を距つること二百二十二里餘、父、母、嫁、兄弟、姉、妹の諸島からなり、明治九年頃の人口は二千足らずで、外國人の歸化した者が多かつた)

船室の中で、お藤はやつと常態にもどつて、寢臺の上に起上つて

「あゝ苦しかつた。もう大丈夫です」

洋藏は、カップに並々とウイスキーを注いで、

「さ、これをぎゆつと一ぱいおやり——氣分がよくなるよ」

「おや、珍らしい——ウイスキーですね……」

お藤は受取つてキユウツと飲みほした。見る〳〵うちに頰がぽつと櫻色に染まつた。

「いゝ色だ——もう一杯飲みな」

「あい——有難う、ぢやもう一杯——この酒、高價い?」

「値段なんか心配しなくてもいゝ……。イギリスの本場物だ。酒は飲みな!」

また一息にキユツと飲みほすとお藤はどうしたものか顔色を變へて苦しんだ。

「ど、どうしたのだ」

「あつ——苦、苦しい」

「困つた者だ。船の中には醫者もなし——大方、船に醉つたんだらう——靜かに寢てるといゝ」

洋藏はお藤をまた横たはらせた

お藤には、退屈な怖るい時間が續いたが、その内も怒濤の中を突進する稻川丸は、右に傾き左に傾き、時には奈落の底に墜落し、空高く躍り上り……しながら、小笠原島に到着した。

船客は與ひ〳〵に上陸した。小笠原洋藏も、お藤をいたはりながら上陸した。

宿と云つても熱帶地の事で、日本の宿とは大分趣きが異つてゐた。十九世紀風の洋館でベランダ作りであつた。室内には籐製のベットが置いてあり、窓外には椰子樹が茂つてゐた。

お藤は初めて見る島内の風俗に驚異の眼を瞠つた。歸化人の子が片言まぢりの日本語を饒舌つて遊れん坊をしてゐたり、白い洋服を着た外人が日本の傘をさして、町の一角に突立つて居たり、悲哀の調子を帶びた外國の歌が聞えたり見るもの聞くものすべてもの珍しかつた。

お藤はベランダに出て、街路を見下しながら、

(まあ、なんて變つた町だらう。丁度外國の田舎にでも行つたやうだ。長崎なら、さしづめ、大浦の居留地かしら……?)

と、考へたりした。

洋藏は、この島に着くと俄然多忙だつた。

朝早くから飛び起きて、島人の間を驅けずり廻つたり、あないす、椰子、鮫の皮等を買約して歩いた。洋藏の顔は島人間に知られわたつてゐたので、どこへ行つても「小笠原の旦那」と云つてもてはやされた。

お藤は、洋藏がこれほどまでに勢力があらうとは想像もしない所だつた。

十一月だといふのに、非常に暖かく、フランネルの單衣一枚で十分な陽氣だつたし、海岸や山の景色も、みんな珍奇な眺めだつた。

宿の料理も、羊料理が多かつた。島内は羊の飼養者が多く、島人の最上の馳走は羊肉であつたが、その外牛乳も新鮮で美味だつた。

お藤は、夢見心地で日を送り、退屈な時は、ベランダから街路を眺めたりして方々を眺めた。

「どうだね、小笠原島つてところは愉快なところだらう?」

洋藏の言葉に——

「えゝ——こんな陽氣なところで一年暮らしたいわ」

と、お藤は答へた。